

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。「表示の説明」は、誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度の区分を説明し、「図記号の説明」は図記号の意味を示しています。

表示の説明



警告

「誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。



注意

「誤った取り扱いをすると、軽傷を負うことや家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。

図記号の説明



中の絵と近くの文で、してはいけないこと（禁止）を示します。



中の絵と近くの文で、しなければならないこと（指示）を示します。



中の絵と近くの文で、注意を促す内容を示します。



警告

ご使用の前に



アース線を確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電の原因になります。

アースを接続する

- ・ガス管、電話線、避雷針、水栓などへのアース線接続は法令で禁止されています。
- ・アースの取り付け（D種接地工事）は、電気工事店または販売店にご相談ください。（アース工事費は本製品の価格に含まれていません）



禁止

給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない

結露などにより、火災や感電の原因になります。



指示

落雷の可能性がある場合は、電源プラグを抜く

故障の原因になります。



禁止

雷が発生しているときは電源プラグに触れない

感電の原因になります。



禁止

本体に強い力や衝撃を与えない

割れたり、本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。



禁止

車両・船舶など、移動体への設置はしない

火災や感電、故障などの原因になります。本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。



分解禁止

分解・改造・修理をしない

火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または当社にご連絡ください。

据え付け・設置について



水場での使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所には設置しない

感電・漏電・火災の原因になります。



指示

- 設置工事は、本書に従い確実に行う
水もれ・火災・感電の原因になります。
- 設置工事部品は、必ず付属品および指定の部品を使用する
水もれ・火災・感電の原因になります。
- 電気工事が必要なときは、専門業者に依頼する
火災・感電の原因になります。



水ぬれ禁止

本体や電源プラグ部に洗剤や汚水、水などをかけない

火災・感電の原因になります。



指示

化学療法を受けているかた、免疫不全症のかたなど、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けているかたは、使用に際し医師に相談する

身体への著しい障害をまねくおそれがあります。

警告

ご使用のときに



上水道以外には接続しない

井戸水や中水道、工業用水は使わないでください。ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。また、異物などが配管に詰まったり、腐食により水もれや故障の原因になります。



異常・故障時はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止める

火災・感電・水もれの原因になります。修理はお買い上げの販売店または当社にご連絡ください。

《異常・故障時の例》

- ・配管や本体から水もれする
- ・異音・異臭がする
- ・本体が異常に熱い
- ・本体にひびや割れが入っている
- ・本体から発煙 など

電源・電源プラグ・コードは



●電源は、交流 100V 定格 15A以上のコンセントを単独で使う

火災・感電の原因になります。延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。

●電源プラグは根元まで確実に差し込む

感電や発熱による火災の原因になります。

●電源プラグの刃や刃の取り付け面のホコリは、定期的に乾いた布でふき取る

絶縁不良による火災の原因になります。



●電源プラグはぬれた手で抜き差ししない

感電の原因になります。



●電源コードを傷つけない、無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、束ねない、重い物をのせない、高温部に近づけない、挟み込まない、加工しない

破損し、火災・感電の原因になります。

●傷んだ電源プラグ・コードや、ゆるんだコンセントを使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



●お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く

感電・けがの原因になります。

●電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜く

感電・ショート・発火の原因になります。



水の安全を確保するために、逆流防止機能がある電磁弁は、定期的な点検を行う

電磁弁の逆流防止機能が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流する原因になります。



長期間使わないときは、電源プラグを抜き、止水栓を閉め、温水タンクの水を抜く

発火・水もれや、水の腐敗による皮膚の炎症などを起こす原因になります。



低温やけどに注意する

便座に皮膚の同じ場所が長時間触れていると、低温やけどの原因になります。

次のようなかたが使うときは、便座温度調節ボタンを「切」にして、周囲のかたが十分気を付けてください
お子様／お年寄り／皮膚感覚の弱いかた／ご自分で温度調節のできないかた／眠気を誘う薬(睡眠薬やかぜ薬など)を服用されたかた／深酒・疲労の激しいかた など

リモコン用の乾電池は



●誤った使いかたをしない

誤った使いかたをすると、液もれによる火災、破裂や周囲汚損の原因になります。

- ・充電・加熱・分解・ショートしたり、水などの液体や火の中に入れてたりしない
- ・金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に保管しない
- ・(+) と (-) を逆に入れない
- ・乳幼児の手の届くところに置かない
万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- ・新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使わない
- ・被覆のはがれた電池は使わない
- ・充電式電池は使わない
- ・使い切った電池を入れておかない
- ・長時間使わないときは、電池を入れたままにしない
- ・電池を廃棄する場合は、テープなどで絶縁する



●乾電池の液がもれたときは、液に素手で触らず、以下の処置をする

液が目に入ると失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水でよく洗い流し、医師にご相談ください。
液が体に付くと皮膚の炎症などを起こします。きれいな水でよく洗い流し、医師にご相談ください。

ご使用前に

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意

ご使用の前に

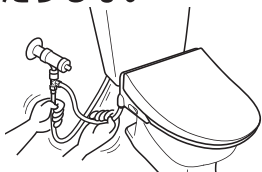
据え付け時・本体の着脱時は



禁止

- 本体給水ホース・タンクフレキホースを無理に引っ張ったり、折り曲げたり、力を加えたりしない

破損・接続部のゆるみにより、水もれの原因になります。



指示

- 水道工事などは、条例に基づき行う水もれの原因になります。
- 持ち運ぶときは、必ず本体を持つ便座や便ふたを持つと本体からはずれ、けがの原因になります。



指示

温水タンク水抜き栓を取り付けるときは確実に締める

確実に締めないと、水漏れの原因になります。

⚠ 注意

ご使用のときに



指示

次のようなかたが使うときは、便座に座るときや立ち上がるときに、転倒しないように周囲のかたが注意する

お子様／お年寄り／自分で便座に座ることや立ち上がることができないかた

便座から立ち上がる時、着座したままで体を前にずらすような動作を繰り返すと、本体が便器からはずれおそれがあり、便器から落ちてけがをする原因になります。



禁止

家庭用以外（店舗などでの長時間使用や不特定多数の人の使用など）では使用しない

故障や発煙・発火などの不具合の原因になります。

凍結のおそれがあるときは(凍結予防)



指示

- 暖房するなど、周囲の温度が氷点下にならないようにする

- 温水タンクおよび本体給水ホースの水を抜く

凍結すると配管部などが破損し、水もれの原因になります。



禁止

使用時・取り扱いについて

- 便ふた・便座開閉時に、指などを挟まない

けがの原因になります。

- 本書に記載されている用途以外に使わない

火災・感電・けがの原因になります。

- 着座センサーを衣類などでふさいだまま、リモコンや本体操作部のボタンを押さない

着座センサーが誤認してノズルから温水が出て、温水を浴びたり床をぬらしたりする原因になります。

- 便ふたに寄りかからない

便ふたが割れて転倒したり、けがの原因になります。

- 破損部はさわらない

けがの原因になります。

- 脱臭カセット挿入口から、脱臭カセット以外のものを入れない

指などを入れると、挿入口の奥の脱臭ファンでけがをする原因になります。

- 開口部から指や物を入れない

感電・けが・故障の原因になります。

- 便座や便ふたに乗ったり、強い衝撃を与えたりしない

転倒したり割れたりして、けがの原因になります。

- トイレ暖房用ストーブ・ヒーターやたばこなどの火気類を近づけない

火災・変色・故障の原因になります。

お手入れのときは



指示

- ストレーナーをお手入れするときは、止水栓を閉める

ストレーナーをはずしたときは、元通りに取り付ける (→ 30 ページ)

水もれの原因になります。



禁止

- プラスチック部分をお手入れする場合は、うすめた中性洗剤を使用し、酸性やアルカリ性のトイレ用洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわし、乾いた布やトイレットペーパーなどを使用しない

プラスチック・金具を傷めます。

- 脱臭フィルターには、洗剤や水をかけない

洗剤をかけると塩素系ガスが発生し、気分が悪くなることがあります。万一、洗剤がかかったときは、すぐ換気をしてください。

免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

お知らせ

- 洗浄後、ノズル付近から水が出ます。本体内部の残水が出るもので、異常ではありません。
- 約 15 分連続で使うと脱臭は、自動停止します。続けて使うときは、一度立ち上がって座り直してください。
脱臭機能は、便器内の脱臭を目的としています。トイレ全体を脱臭することはできません。
- 洗浄を 2 分以上続けると、自動停止します。続けて使うときは、もう一度洗浄するボタンを押してください。
- 停電が発生した場合や、電源プラグを抜くなど通電を止めていた場合
停電が解消した後や、通電を再開すると、約 5 分後に温水ヒーターに通電を開始します。
すぐに温水ヒーターへの通電を再開させたいときは、「おしり」または「ビデ」ボタンを押してください。
- ノズル付近から少量の水が出る場合があります。温水タンク内の水が温められ、膨張して出てくるもので、異常ではありません。
- ノズルが収納された後でも約 1 分以上水が出ているときは、何らかの異常が考えられます。止水栓を閉め、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または当社にご連絡ください。
- 出荷前に通水検査を行うため、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。
- リモコンとリモコン受信部との間に、カーテンなど信号をさえぎるものがあると動作しないことがあります。
- 直射日光やインバーター蛍光灯の光がリモコン受信部に当たると、リモコンからの信号を受け付けないことがあります。

異常報知について（→ 34 ページ）故障かな？と思ったら（→ 35・36 ページ）もあわせてお読みください。

お願い

据え付け・施工、設置場所について

- 取付ボルトセットやホースのナットを締めるとき、インパクトドライバーや大きなスパナなどを使用して力をかけて締めすぎると、部品が破損し水もれなどの原因になります。過剰に締めすぎないように、ご注意ください
- 本体の取り付け後は、水もれがないことを確認するまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください
- 電源プラグをコンセントに差し込んだ状態で、製品を立てたり、傾けたり、上下ひっくり返したりしないでください
空焚きにより、温度ヒューズが切れて電源が入らなくなるおそれがあります。
- 寒冷地用給水管・フラッシュバルブの配管工事や、その他の配管工事が必要なときは、専門業者に依頼してください
専門的な工事が必要です。
- 本体を便器に着脱するときは、給水ホースなどに無理な力を加えないでください
- 直射日光を当てないでください
樹脂部が変色・劣化する原因になります。
- 電源コードの長さは約 1m です。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください

お手入れについて

- 本体表面のよごれは、柔らかい布に水を含ませ、固くしぼってからふいてください
ひどいよごれは、適量に薄めた中性洗剤を布に含ませてふき洗いし、水ぶきして洗剤分をふき取ってください。消毒などには、適量に薄めた逆性石けんを布に含ませてふき洗いし、水ぶきして液をふき取ってください。
- 脱臭フィルターの黒粉が手に付いたときは、すぐに洗ってください
皮膚や目などに炎症を起こすおそれがあります。
- 便器洗い用のトイレ洗剤を、温水洗浄便座に付けないでください
温水洗浄便座を傷めます。
揮発性ガスによって温水洗浄便座を傷めることがありますので、便器内を洗剤で掃除する場合は、便ふた・便座を開けたままにして短時間でお手入れしてください。(便器内の洗剤はすぐに流してください)

使用時・取り扱いについて

- 本体がガタついたまま使用しないでください
転倒したり、割れてけがをする原因になります。
- 便座・便ふたを乱暴に開閉しないでください
割れたり、故障したりする原因になります。
- 着座するときはゆっくり腰をおろしてください
破損の原因になります。
- ノズルなどによごれを付けないでください
においの発生や故障の原因になります。
- リモコンや本体操作部のボタンを、必要以上に強く押さないでください
故障の原因になります。
- 男性の小便時には、洗浄ノズルに小便がかからないようにしてください
故障の原因になります。
- 市販の便座カバーやふたカバーには、サイズが合わずカバーが破損するものがあります。購入前にサイズをご確認ください
また、便ふたにカバーなどを付けて開閉に支障があるときは、カバーをはずしてください
- ラジオなどは本体から離して使ってください
ラジオに雑音が入ることがあります。
- 便座の上に幼児用補助便座、やわらか補助便座などを置いて使用した場合は、使用後取りはずしてください
一部の機能が使用できなくなることがあります。
- 製品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください
温水タンクが空の状態ではヒーターが入るため故障の原因になります。

リモコンについて

- リモコンは、リモコン受信部に向けて信号の届く位置に設置してください
- リモコンをストーブなどの近くに置いたり、落としたり、水をかけたりしないでください
また、便器の中に落とさないでください

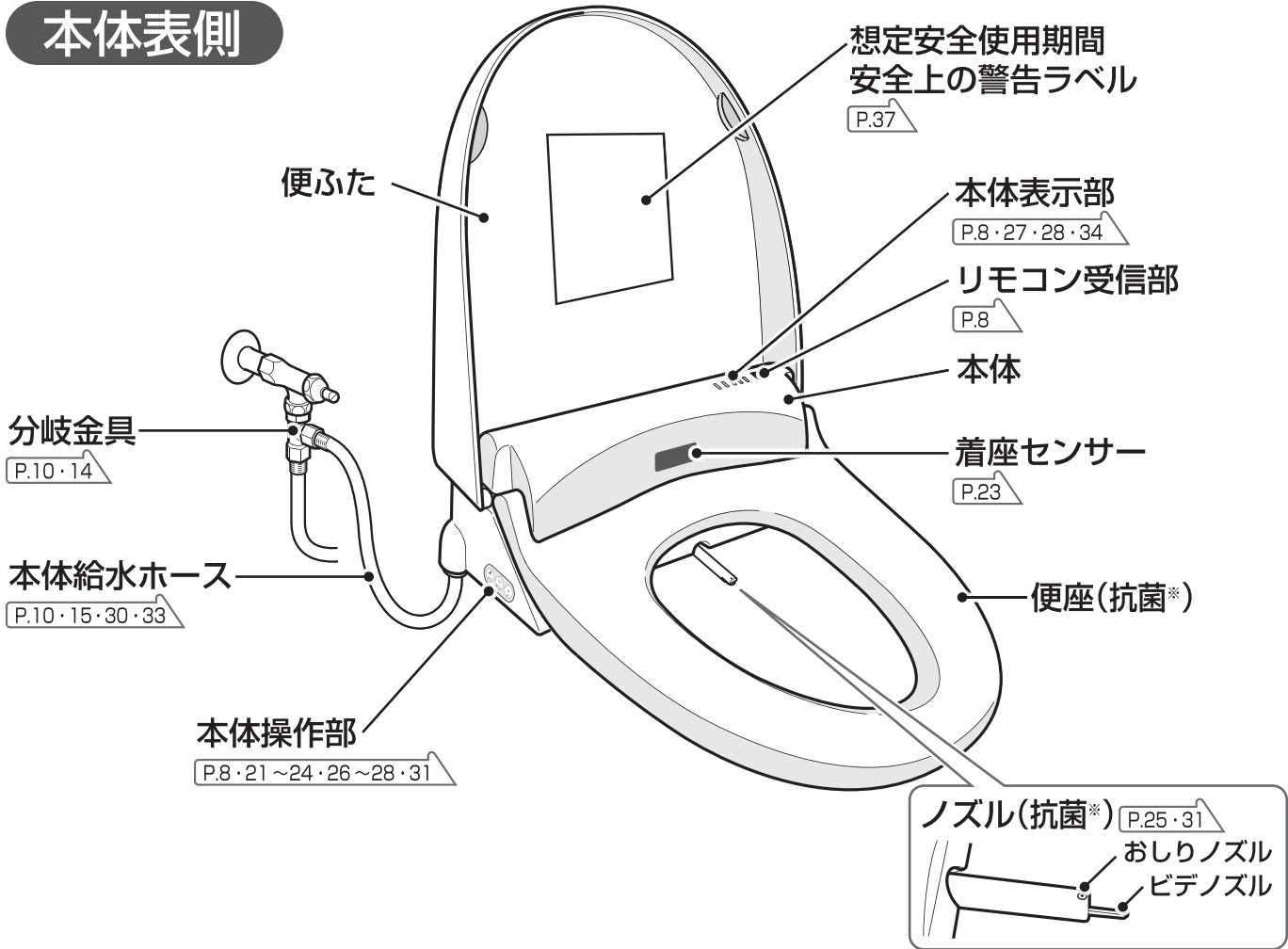
脱臭フィルターの廃棄について

- 不要になった脱臭フィルターは、各自治体の指示に従って廃棄してください

各部のなまえ

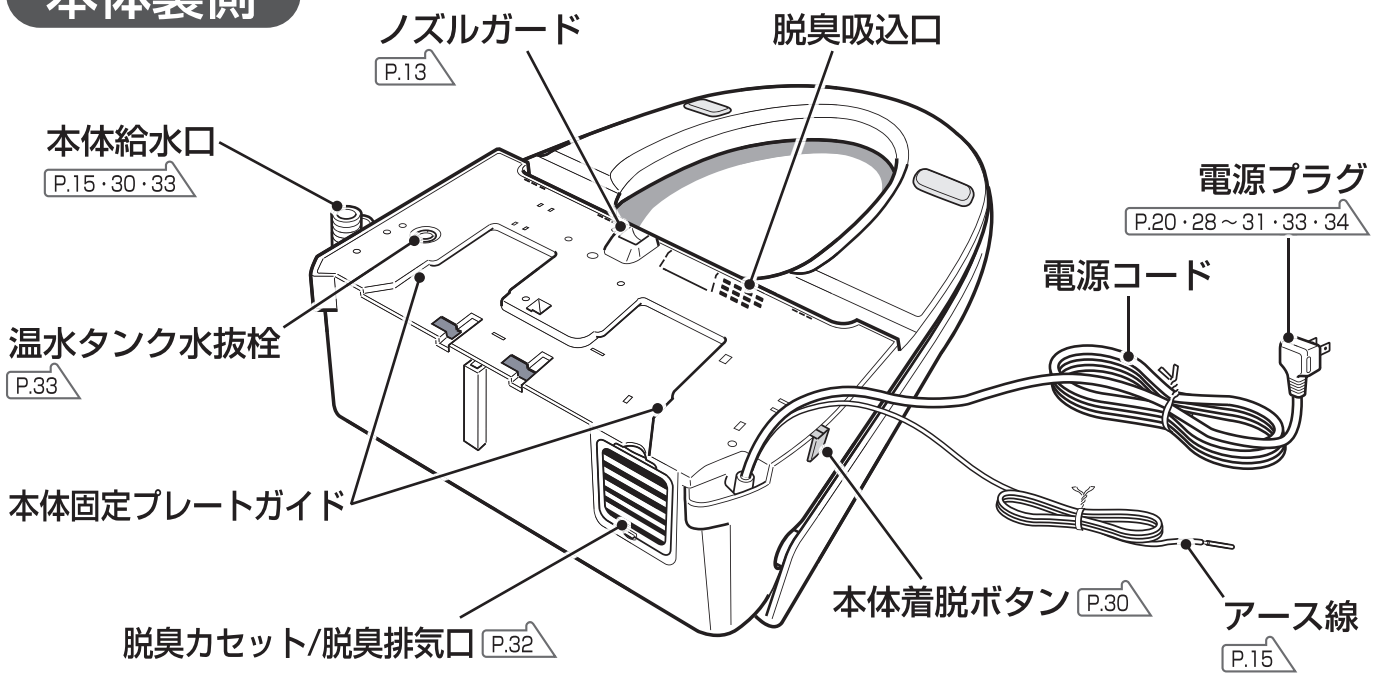
このマークの中の数字は、掲載ページを示しています。

本体表側



ご使用前に

本体裏側



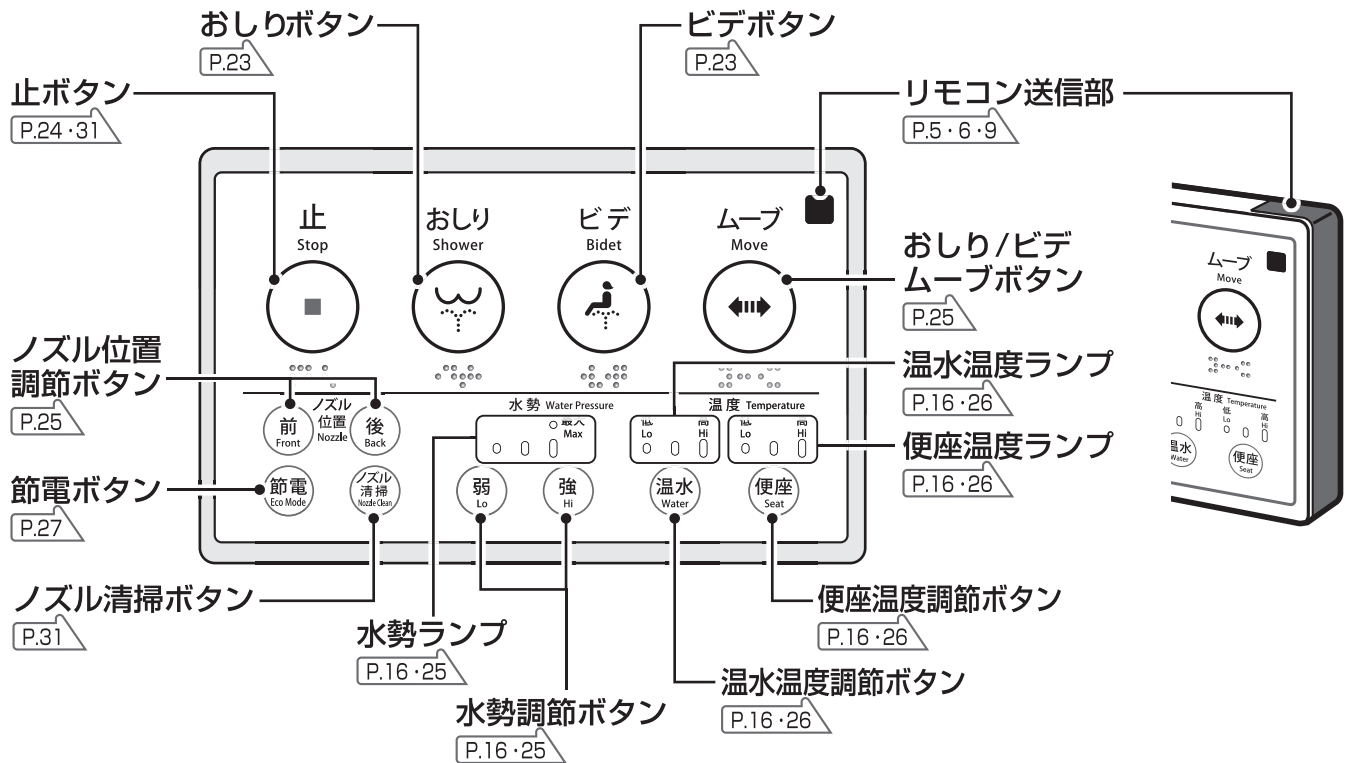
※抗菌加工部位：便座、ノズル
 試験機関：(一財)新潟県環境衛生研究所
 試験方法：フィルム密着法 JIS Z 2801
 抗菌方法：抗菌剤を樹脂に練り込み

試験結果：24時間後99%以上抑制
 上記試験は2種類のみので実施
 試験番号(便座)：第202200410-001-MBA号
 試験番号(ノズル)：第200800099-001-MBA号

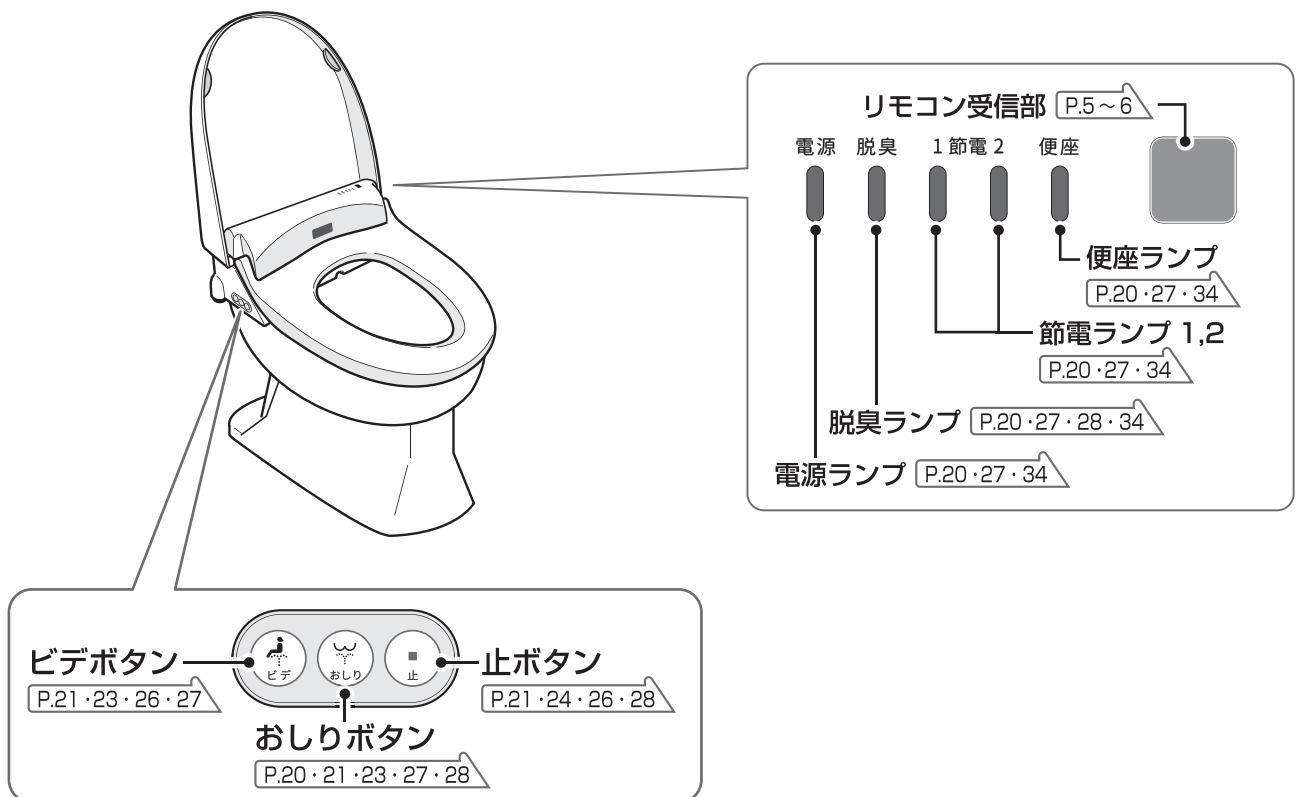
(つづく) 7

各部のなまえ (つづき)

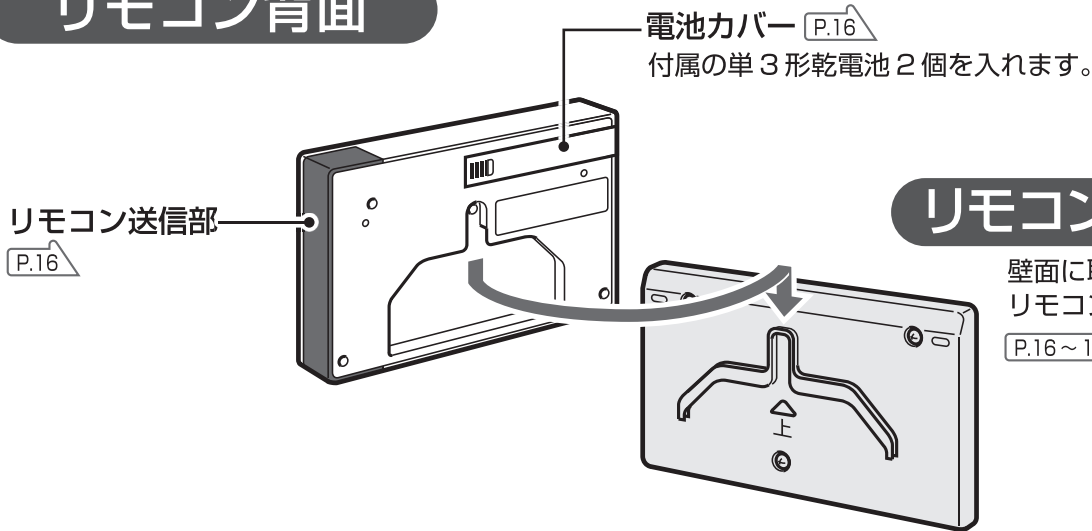
リモコン操作部



本体操作部 / 表示部



リモコン背面



リモコンホルダー

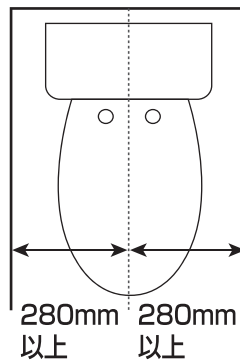
壁面に取り付け、
リモコンをかけます。
P.16~18

取り付け前の確認

温水洗浄便座の取り付け作業前に、以下の内容をご確認ください。
付属品以外の別売部品が必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

取り付け場所の寸法の確認

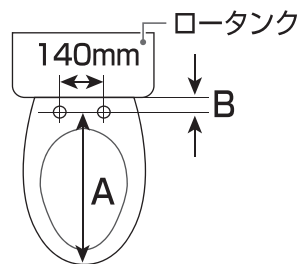
トイレの広さ



便器のサイズ・タンクと取付穴の位置

使用できる便器サイズ	B寸法
レギュラーサイズ (A寸法 440mm)	65mm 以上
エロンゲートサイズ (A寸法 470mm)	50mm 以上

《ロータンク式》



- 便器によって、便座の内側から便器のふちが見える場合がありますが、使用に問題ありません。(便座の先端が便器の先端より多少出っ張ります)
- 便ふた・便座が自立しない場合は、本体固定プレートの位置を手前側に調整してください。

アース端子の有無の確認

あ る

接続できます

な い

アース工事を電気工事店または販売店にご相談ください

(つづく) 9

ご使用前に

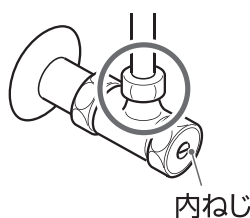
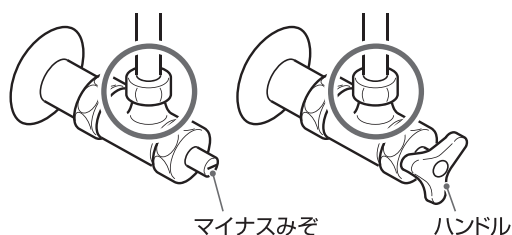
取り付けかた

取り付け前の確認 (つづき)

止水栓などの種類の確認

■一般の止水栓

■内ねじ止水栓

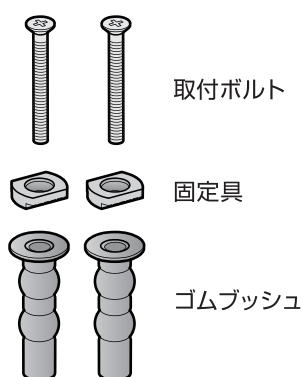


○部の分岐金具取付部のねじサイズがG1/2であれば、付属品の分岐金具で取り付けられます

ねじサイズが合わない場合はお買い上げの販売店または専門業者にご相談ください

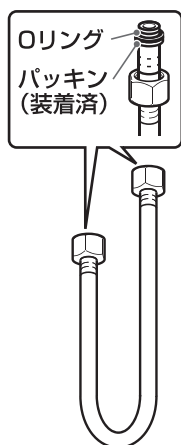
付属品

本体取り付け時に必要なもの

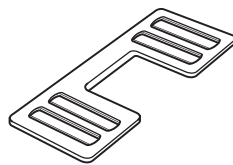


(取付ボルトにゴムブッシュ・固定具が付いた状態になっています)

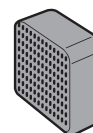
取付ボルトセット
1セット



本体給水ホース
約1m
1本



本体固定プレート
1枚

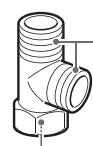


脱臭フィルター
1個
(消耗部品)
※本体に装着済



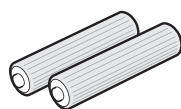
パッキン
1個

ねじのサイズ:G1/2

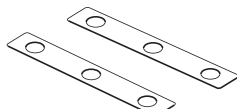


分岐金具
1個

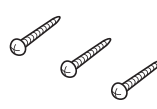
リモコン取り付け時に必要なもの



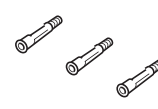
アルカリ単3形乾電池
2個



両面テープ
2本



固定ねじ
3本
(M4 × 20mm)

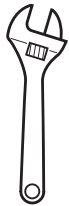


アンカープラグ
3本

取り付けかた

取り付け作業に必要なもの

配管時に必要なもの



モンキーレンチ

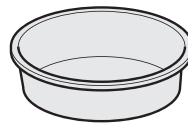


マイナスドライバー



プラスドライバー

給水管を取りはずすときの残水処理に必要なもの



広口容器

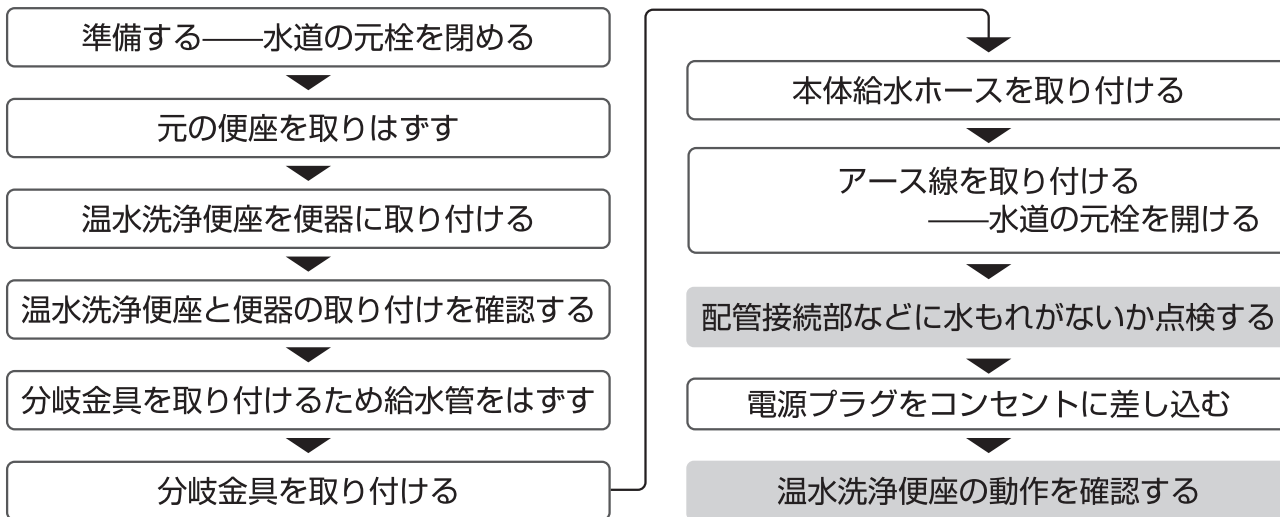


ぞうきん

お願い

- 電源プラグは、温水洗浄便座を便器に取り付け、配管接続部などに水もれがないか点検するまでは絶対にコンセントに差さないでください。
以下の取り付け・確認の流れに従ってください。

取り付け・確認の流れ



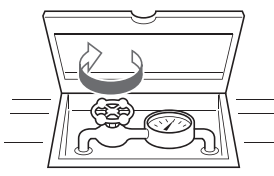
取り付けかた

取り付けの手順

準備する

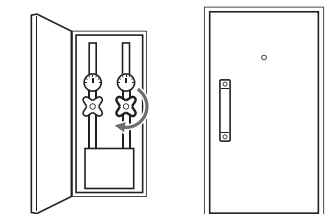
水道の元栓を閉める

- 水を使用中の器具がないことを確認し、水道の元栓を閉めます。



戸建住宅

集合住宅



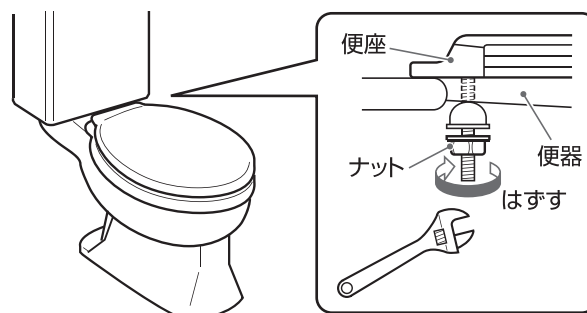
お願い

- 元栓を閉めたら、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

取り付けかた (つづき)

元の便座を取りはずす

ナットをモンキーレンチでゆるめ、便座を取りはずす



- 取りはずした便ふた・便座・ナットなどは保管しておいてください。引越しなどで必要になることがあります。

温水洗浄便座を取り付ける

1 取付ボルトからゴムブッシュ・固定具をはずし、便器の取り付け穴にゴムブッシュを差し込む

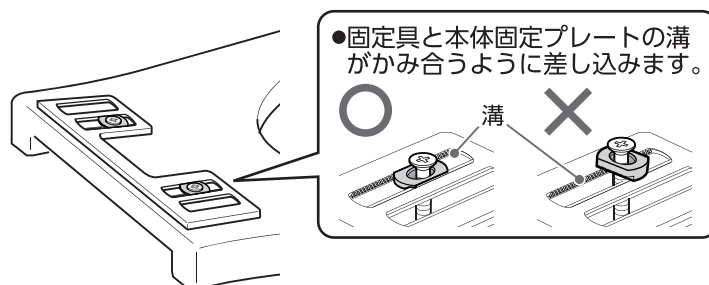
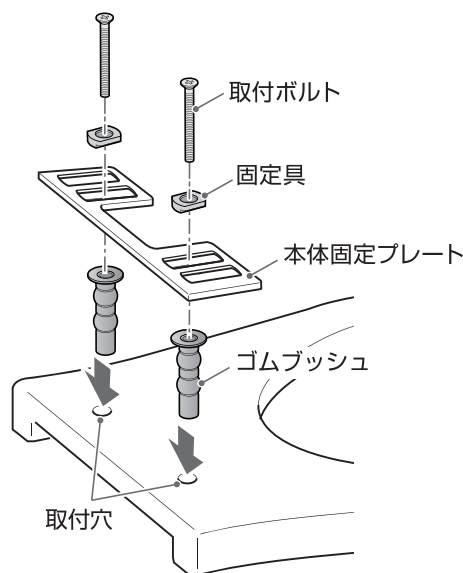
- ゴムブッシュの表面を水でぬらしておくとし込みやすくなります。

2 ゴムブッシュの上に本体固定プレートを置く

- 本体固定プレートの向きに注意してください。

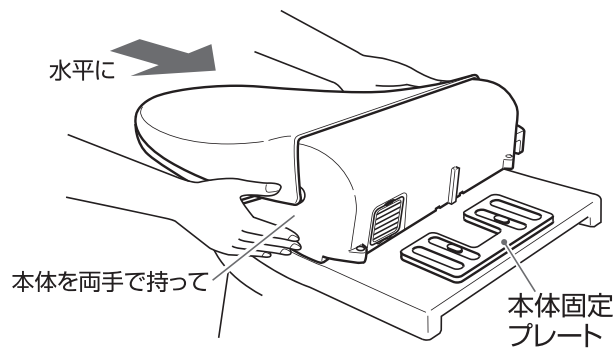
3 本体固定プレートを固定具と取付ボルトで仮固定する

- 取付ボルトが本体固定プレートの中に入り込むまでプラスドライバーで締め付けてください。
- インパクトドライバーで締め付けしないでください。
- 本体固定プレートの位置は調節可能です。



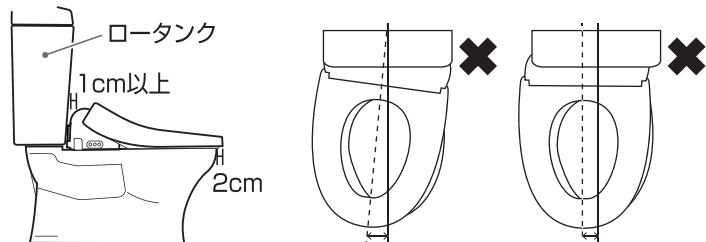
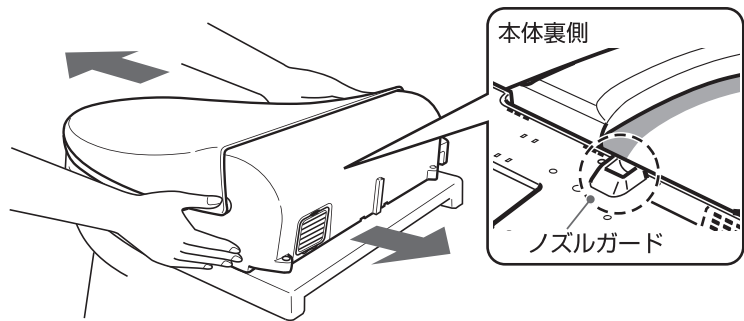
4 温水洗浄便座を本体固定プレートに取り付ける

本体固定プレートガイド (→7 ページ) と本体固定プレートを合わせ、カチッと音がするまで**水平**に押し込んでください。本体固定プレートに当たるときは、本体を**水平**に少し浮かせ、本体固定プレートガイドに合わせてください。



5 温水洗浄便座の位置を調整する

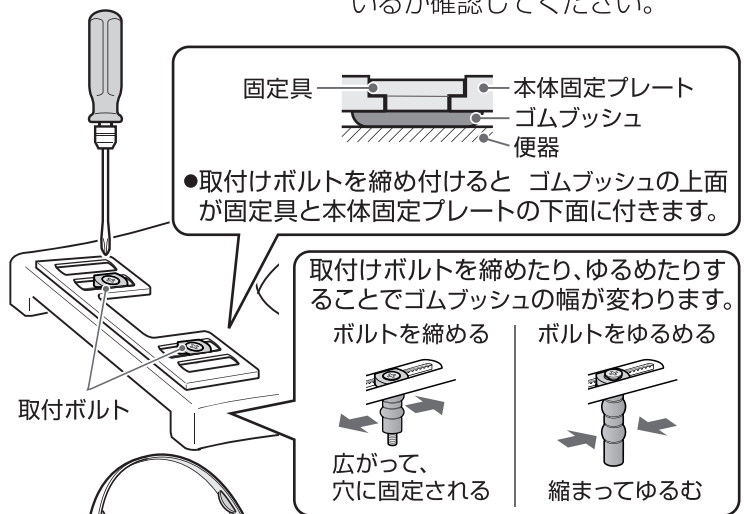
- ノズルガードが便器にかかっていないことを確認します。
- 便器の先端 (中心) に、便座の先端 (中心) を合わせるようにします。うまく合わない場合は、本体をはずして、取付ボルトをゆるめて本体固定プレートの位置を調整してください。(本体を取りはずすときは、本体着脱ボタンを押したまま手前に引き出してください。→30 ページ)
- 便座の先端が便器より 2cm 前に出るように位置を調整します。
- 本体背面とロータンクの間は 1cm 以上あけてください。
- 便ふた・便座を開けたときに倒れてくる場合は、本体固定プレートの位置を手前側に調整してください。



- 上から見てまっすぐ取り付けているか確認してください。

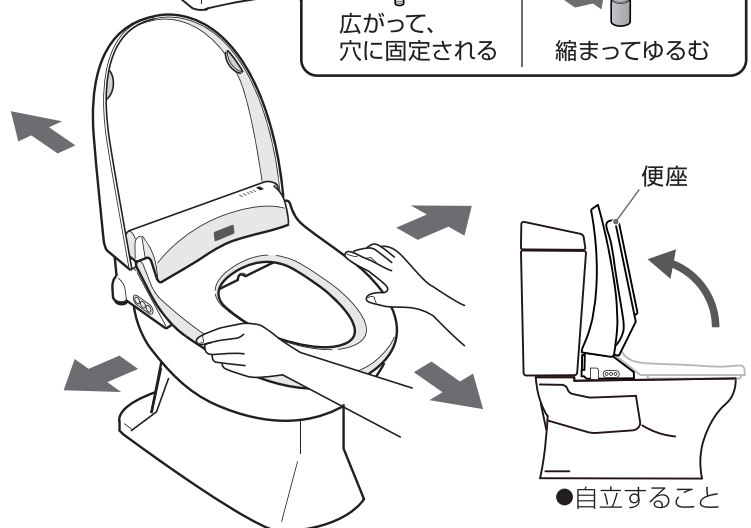
6 位置が決まったら温水洗浄便座本体を取りはずしプラスドライバーで取付ボルトが回らなくなるまでしっかりと締め付ける

- 締め付トルク目安: 1.5N・m (15kgf・cm)
- インパクトドライバーで締め付けしないでください。



7 取り付け状態を確認する

- 便座を前後左右に動かし、はずれないことを確認してください。
- 本体を便器に取り付けたとき、上下左右に多少のガタツキが発生しますが異常ではありません。本体の着脱方式によるものです。
- 便座を上げた状態で便座が自立することを確認してください。



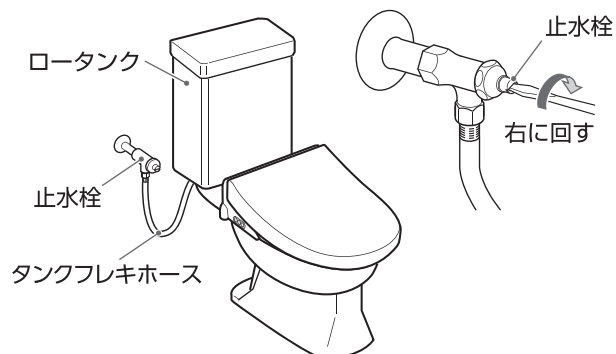
取り付けかた (つづき)

分岐金具を取り付ける

タンクフレキホースを取りはずして、分岐金具を取り付けます。

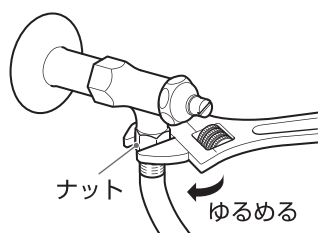
1 止水栓を閉める

- ①便器の止水栓をマイナスドライバーでいっぱい閉め、給水を止める
※止水栓は調整されているので、元の位置（どれくらい回したか）を覚えておいてください。
- ②ロータンクのハンドルを回して便器洗浄を行う
●給水されないことを確認してください。



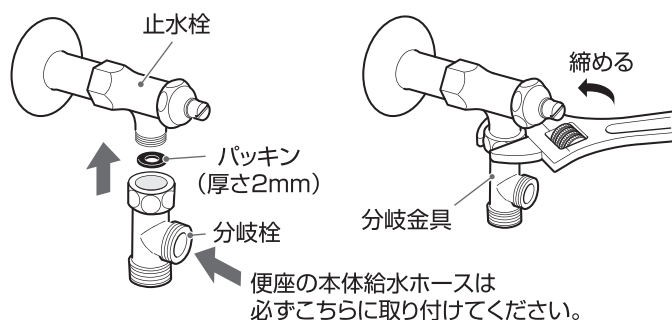
2 タンクフレキホースをははずす

- タンクフレキホースのナットをゆるめて止水栓より取りはずしてください。
※このとき、少量の水がこぼれます。ぞうきんなどを下に置いてください。
- タンクフレキホースのナット内部にはストレーナーが付いています。本製品の取付けに必要なため、なくさないようにしてください。



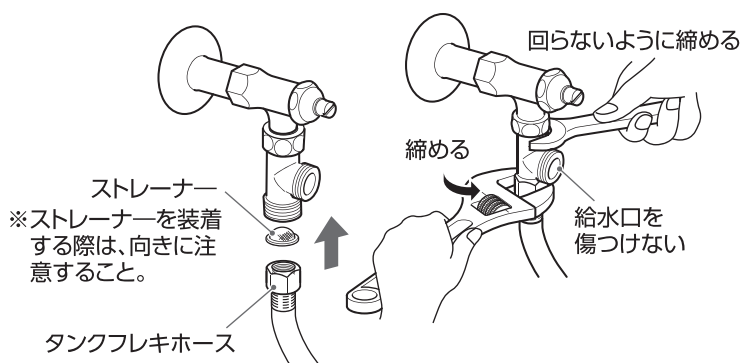
3 分岐金具を取り付ける

- ①付属のパッキン（黒：厚さ2mm）を入れて分岐金具を止水栓に取り付ける
- ②分岐金具のナットは、はじめに手でいっぱい締め付けてから工具で増締めする（締付トルク約 7.4N・m）
●止水栓に無理な力をかけないでください。
※破損して漏水するおそれがあります。



4 タンクフレキホースを取り付ける

- ①ストレーナーを入れてタンクフレキホースを分岐金具に取り付ける
- ②タンクフレキホースのナットは、はじめに手でいっぱい締め付けてから工具で増締めする
- ③分岐金具にスパナ（22mm）またはモンキーレンチを当てて、分岐金具を固定しながらタンクフレキホースのナットを締め付ける
●止水栓に無理な力をかけないでください。
※破損して漏水するおそれがあります。



本体給水ホースを取り付ける

1 止水栓に接続されている分岐金具へ、本体給水ホース（パッキン付き）のナットを手で回して取り付ける

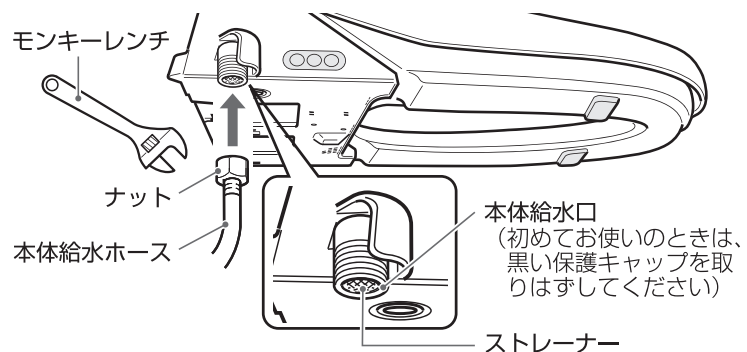
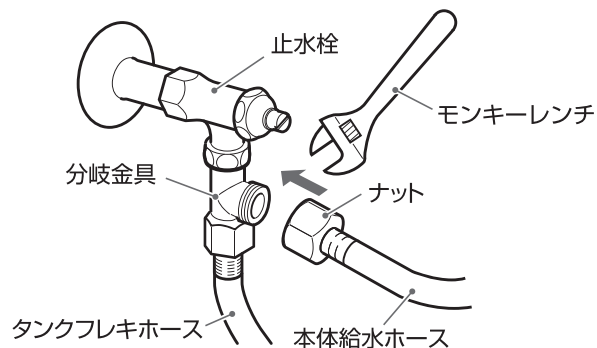
2 モンキーレンチでナットを締める（締付トルク 約7.4 N・m）

3 本体給水口の奥にストレーナーが付いていることを確認し、本体に本体給水ホース（パッキン付き）のナットを手で回して取り付ける

- ストレーナーは、水道水内の異物を除去します。

4 本体給水ホースがねじれないように手で押さえながら、モンキーレンチでナットを締める

- パッキンは本体給水ホースに内蔵されているため、あらためて入れる必要はありません。



- 本体給水口が便器に重なるときは、本体を便器に装着する前に本体給水ホースを取り付け、その後本体給水口を後ろ方向に回してください。

まだ電源プラグは差し込まないでください

電源プラグは、水道の元栓と止水栓を開いてからコンセントに差し込みます。

取り付けかた

アース線を取り付ける



警告



アース線を確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電の原因になります。

アースを接続する

- ガス管・電話線・避雷針・水栓などへのアース線接続は法令で禁止されています。
- アースの取り付け（D種接地工事）は、電気工事店または販売店にご相談ください。（アース工事費は本製品の価格に含まれていません）

アース線をアース端子に確実に接続する

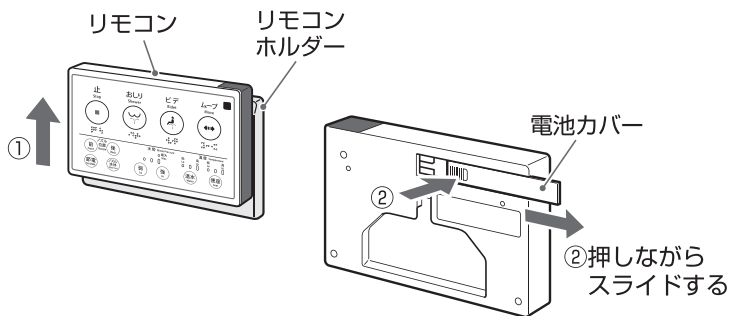
- アースを取り付けるときは、電源プラグを抜いてください。
- 設置場所の変更や転居のときも、アースの取り付けをしてください。
- アース端子がないときは、電気工事店または販売店にご相談ください。



リモコンの準備と取り付けかた

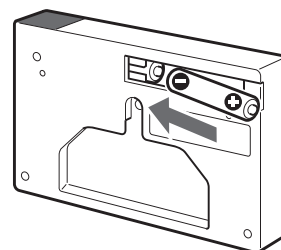
1 電池を入れる

1. リモコンホルダーからリモコンをはずし①、裏面にある電池カバーを開ける②



2. 付属のアルカリ単 3 形乾電池 2 個を極性を間違えないように入れる

- アルカリ単 3 形乾電池 2 個をご使用ください。
- 電池寿命は約 1 年です。
- 新旧、異種の電池は混用しないでください。
- 電池の⊕⊖を確かめて正しく入れてください。
- 充電式の電池は使用しないでください。
- ボタンを押してもリモコンのランプが点灯しない場合は、電池が消耗している可能性があります。電池を交換してください。



3. 電池カバーを閉じる

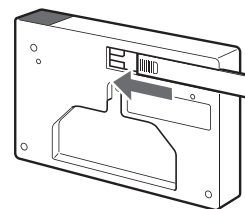
お知らせ

- 付属の電池は施行時の動作チェック用のため、一般に市販されている電池に比べ寿命が短い場合があります。

< 電池を交換したときは >

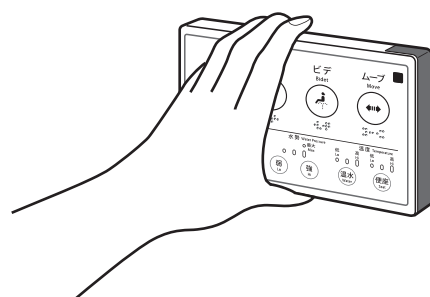
リモコンの「温水」「便座」「水勢」ボタンをそれぞれ 1 回ずつ押し、リモコンの表示と本体の設定を一致させてください。

- 電池を廃棄するときは、テープなどで絶縁し、各自治体の指示に従って廃棄してください。



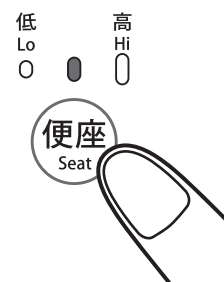
2 リモコンの取り付け位置を決める

1. 電源プラグをコンセントに差し込む
便座に座った状態でボタンに手が届く範囲でおおよその取り付け位置を決める



2. 1 で決めた位置でリモコンを手で支えながら、リモコンの便座温度調節ボタンを押し、受信状態を確認する（リモコンからの信号を本体が受信すると、「ピッ」という音がします）

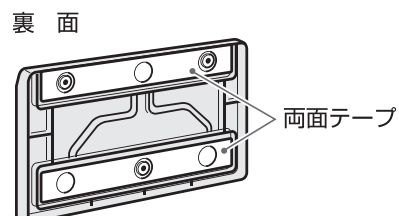
- リモコンの「便座温度調節」ボタンを押しても正常に動作しない場合は、リモコンの取り付け位置を変更してください。
リモコンは本体のリモコン受信部側の壁に取り付けると、本体へ信号が届きやすくなります。（本体に向かって右側）
※リモコン送信部を手などでふさがないように注意してください。
※黒い天井や壁などでは、リモコンからの送信を本体が受信しにくい場合があります。



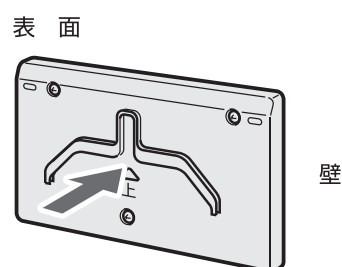
3 リモコンホルダーを壁面に取り付ける

壁面が石膏ボード・タイル・コンクリートなどの場合は、次のページの「石膏ボード・タイル・コンクリート壁への取り付け」をご覧ください。

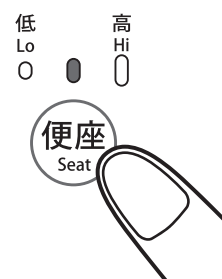
1. リモコンホルダーの裏面に、付属の両面テープを赤色の上紙を残して貼り付ける



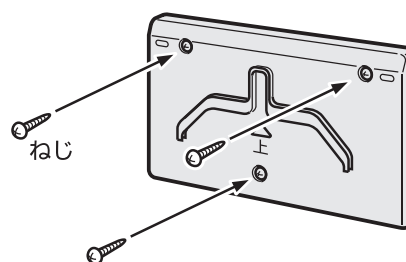
2. 壁面のよごれをふき取り、リモコンホルダーに貼った両面テープの赤色の上紙をはがして、リモコンホルダーを壁面に貼り付ける (これは仮止めです)



3. リモコンホルダーにリモコンをかけ、着座して便座温度調節ボタンを押し、本体から「ピッ」という音がすることを確認する
確認後、電源プラグをコンセントから抜く



4. リモコンをはずしてからリモコンホルダーを付属のねじ3本で固定する



取り付けかた

リモコンの準備と取り付けかた (つづき)

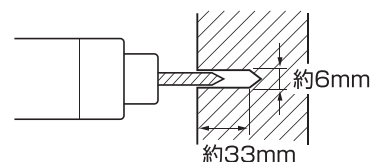
石膏ボード・タイル・コンクリート壁への取り付け

壁が石膏ボード・タイル・コンクリートなどの場合は、付属のアンカープラグを使ってリモコンホルダーを取り付けてください。

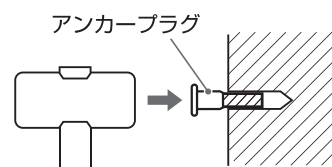
①リモコンホルダーを壁に当てて、リモコンホルダーのねじ穴(3箇所)に合わせて先のとがったドライバーやきりなどで壁にしるしを付け、リモコンホルダーを壁から離す

②リモコンホルダーのねじ位置に合わせ、ドリルで壁に直径6mmの下穴を開ける

- タイル・コンクリート壁の場合、直径約6mm、深さ約33mmの下穴を開けてください。



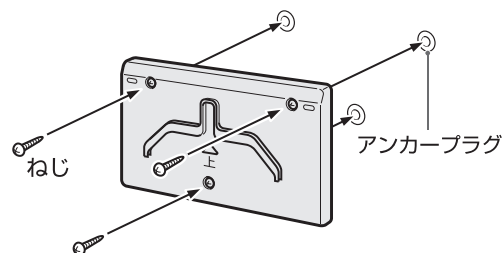
③ハンマーなどを使い、アンカープラグを下穴に打ち込む



④リモコンホルダーを付属のねじ3本で取り付ける

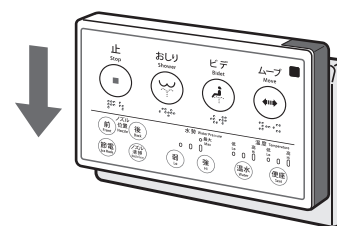
お願い

- 石膏ボードに取り付けるときに、初めはねじの締め付けがかたく、いったんゆるくなって再びやかたくなります。やかたくなるまでしっかりと締め付けてください。



4 リモコンをリモコンホルダーにかける

- リモコンがリモコンホルダーに確実に固定されたことを確認してください。



取り付け後の確認

配管接続部などに水もれがないか点検する

1 付属のパッキンが余っていないか確認する

- 余っているときは、止水栓から分岐金具をはずし、パッキンを取り付けてください。(→ 14 ページ)

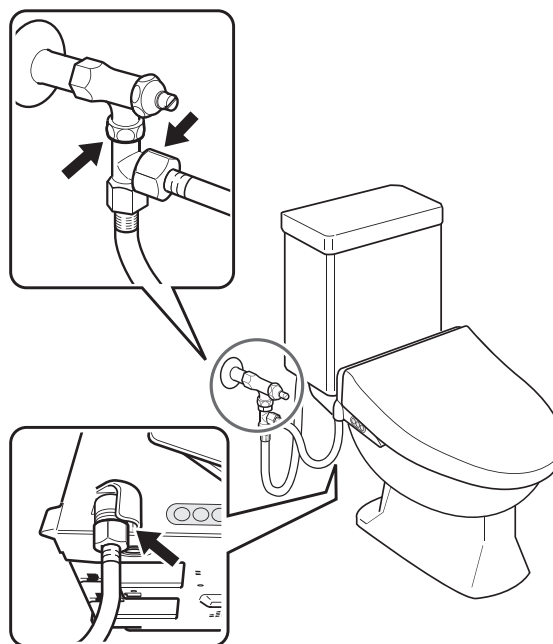
2 給水する前に、各接続部のゆるみがないか確認する

3 水道の元栓を開く

4 止水栓を開いて、配管接続部に水もれがないか確認する

5 時間の経過とともに水もれすることがあるので、据付工事後、数日間は広口容器を設置しておく

→: 水もれ点検箇所



- ゆるみがあるときは、モンキーレンチなどでしっかり締めてください。

水もれがあった場合

1. 水道の元栓と止水栓を閉める
2. 水もれのある接続部をはずし、もう一度取り付ける

お願い

- ナットから水もれしていないか、定期的(月1回)に確認をしてください。

取り付けかた

取り付け後の確認 (つづき)

動作確認の手順

取り付けが終わったら、以下の手順で動作を確認してください。

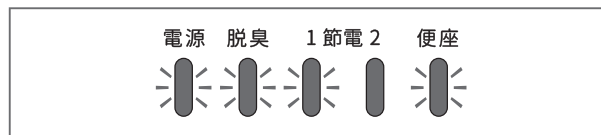
1 コンセントに電源プラグを根元まで差し込む

- ノズルが1回伸縮し、その間、本体表示部のすべてのランプが点滅します。(初期動作)
- 初期動作終了後、本体表示部のランプの状態に従って(右記参照)手順2または手順3へ進んでください。

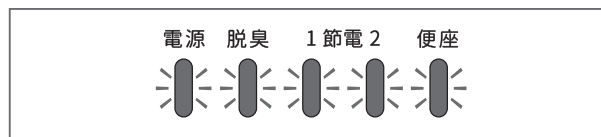
本体表示部のランプの状態

- 温水タンクが空の状態 → 手順2へ進む

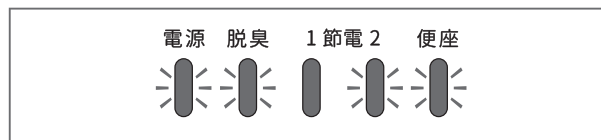
・便ふたが閉まっている場合



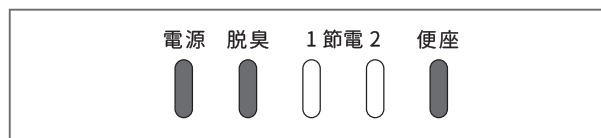
・便ふたが開・着座センサーがOFFの場合



・便ふたが開・着座センサーがONの場合



- 温水タンクが満水の状態 → 手順3へ進む



表示ランプ ●: 点灯 ◐: 点滅 ○: 消灯

2 リモコンまたは本体操作部の「おしり」ボタンを押す

- 本体内の温水タンクに給水され、満水になると本体表示部のすべてのランプの点滅が止まり、「電源」「脱臭」「便座」ランプが点灯します。(上記「温水タンクが満水の状態」参照)(給水中は本体表示部のランプが順に点灯し、スクロールします)

3 便ふたを開けて便座が温まるのを確認し、水が温水になるまで約5～7分待つ

4 便座と便器の間にビニールシートなどを挟む

5 着座センサーを白紙や手でふさぐ

6 着座センサーをふさいだまま、リモコンまたは本体操作部の「おしり」または「ビデ」ボタンを押す

7 洗浄水（温水）が出るのを確認したら、リモコンまたは本体操作部の「止」ボタンを押す
着座センサーをふさいでいた白紙などを取り除く

●時間は水温や周囲の温度によって変わります。

●着座センサーが着座を検知します。（便ふたが開いていないと検知しません）
●脱臭ファンが動き始めます。

●自動でノズルを洗浄します。
●ノズルが伸びて、ノズルから洗浄水（温水）が出ることを確認してください。

●洗浄水が止まり、自動でノズルの洗浄をします。ノズル出口付近でノズルが3回伸縮し、本体に収納されます。



連立トイレに取り付けるかたへ

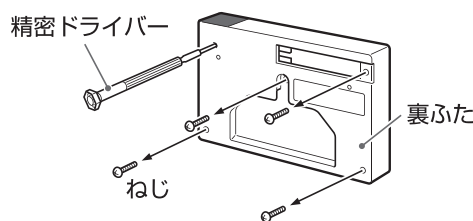
このページは、連立トイレ（複数のトイレが隣接する場合）で使用する場合の説明です。トイレが隣接していない場合は、この作業は必要ありません。

リモコンの設定

工場出荷時のリモコンはすべて同じ設定なので、隣接するトイレで使用すると誤作動の原因になります。必ず以下の手順に従って、モードを変える設定をしてください。工場出荷時に設定されているモードも含め、8種類の設定が可能です。（必要な工具：精密ドライバー、ニッパー）

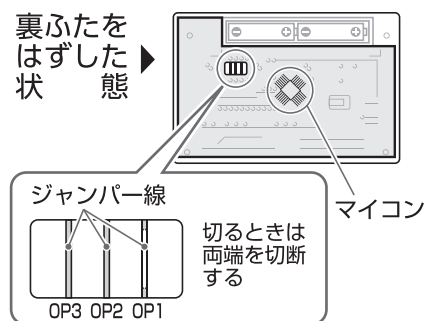
1 リモコンの電池を取り出してから、ねじ5本をはずし、裏ふたをはずす

- 精密ドライバーを使用してねじをはずしてください。



2 回路基板のジャンパー線を切断してモードを変える

- ジャンパー線を切断するときはニッパーを使用して、必ず線の両端を切断し（他のジャンパー線との接触防止）、切断カスが内部に落ちないようにリモコンを傾けて切断してください。また、回路基板上のマイコンに手が触れないように、リモコンの外周を持って切断してください。マイコンに手が触れるとマイコンが機能しなくなることがあります。



リモコン設定表 ○：切断しない ×：切断する *：工場出荷モード

OP3	OP2	OP1	設定モード
○	○	○	0 *
○	○	×	1
○	×	○	2
○	×	×	3
×	○	○	4
×	○	×	5
×	×	○	6
×	×	×	7

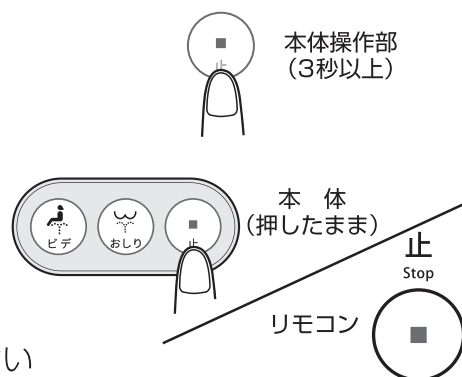
表の説明

例えば3つ並んだトイレの場合、設定モードを0、1、2にします。0のリモコンは設定を変える必要がありません。1のリモコンはOP1のジャンパー線を切断します。2のリモコンはOP2のジャンパー線を切断してください。（それ以上トイレ数がある場合も、リモコン設定表に合わせてジャンパー線を切断し設定してください）

3 裏ふたを閉め、ねじ5本で固定し、電池を入れる（→16ページ）

4 設定を変えたリモコンに合わせて本体を設定する

1. 本体操作部の「止」ボタンを3秒以上押し、ブザー音が1回鳴る
 2. 本体操作部の「止」ボタンを押したまま、リモコンの「止」ボタンを押す
 3. ブザー音がピーピーと2回鳴り、設定終了
- 本体とリモコンの「止」ボタンから手を離してください



使いかた

警告



次のようなかたが使うときは、便座に座るときや立ち上がるときに、転倒しないように周囲のかたが注意する

指示

お子様／お年寄り／自分で便座に座ることや立ち上がることができないかた

便座から立ち上がる時、着座したままで体を前にずらすような動作を繰り返すと、本体が便器からはずれおそれがあり、便器から落ちてけがをする原因になります。

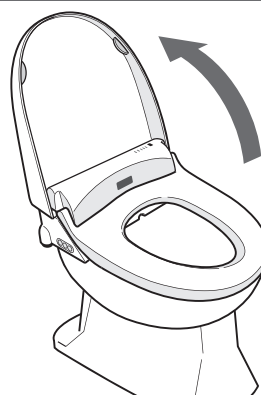
おしり / ビデ洗浄についてお願い

- 長時間の洗浄や洗いすぎにご注意ください。また、局部内は洗わないでください。常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスを崩してしまう可能性があります。
- 習慣的に便意を促すためには使用しないでください。また、洗浄しながら故意に排便しないでください。
- 局部に痛みや炎症などがあるときは、使用しないでください。
- 局部の治療・医療行為を受けているかたは、使用について医師の指示に従ってください。

お知らせ

- リモコンのランプはボタン操作により点灯した後、本体動作中であっても約 10 秒で消灯します。(電池消費を防ぐため)
- 水勢・温水温度・便座温度の調節と脱臭・節電の設定、ノズル清掃ボタンは、便ふたを閉じた状態でも操作できます。(ノズルをお手入れするときは、便ふたと便座を開けて行ってください) それ以外の操作は便ふたを開け、便座に座らないと動作しません。

1 便ふたを開ける



2 便座に座る

着座センサーで検知され、洗浄操作が可能になります。

- 脱臭が始まります。(脱臭ファン動作音がします)

お願い

- 着座センサーを衣類(黒色などの光が反射しにくい衣類)でおおうと、着座センサーが検知しないことがあります。衣類を着座センサーから離してください。



3



または



ボタンを押す

お願い

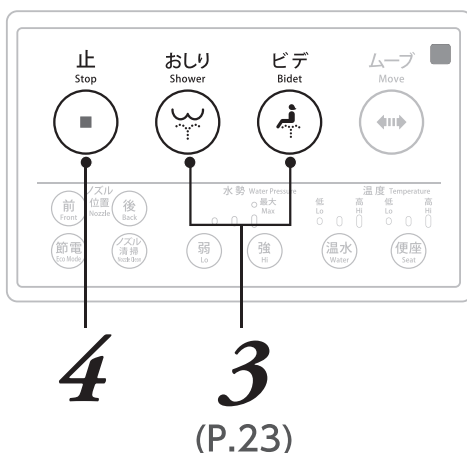
- 本体操作部やリモコンのボタンを必要以上に強く押さないでください。故障の原因になります。

- はじめに約 7 秒間自動でノズルを洗浄した後、おしり洗浄またはビデ洗浄を始めます。(ノズル洗浄中は便器内に水が流れ落ちます)
- 本体操作部の「おしり」「ビデ」ボタンでも操作できます。
- ノズル位置は、お好みに合わせて「ノズル位置調節」ボタンで調節できます。(→ 25 ページ)
- 連続して約 2 分使用すると、洗浄が止まります。続けて使う場合は、再度同じボタンを押してください。
- 温水タンクの容量は約 0.6L です。おしり / ビデ洗浄中に洗浄水の温度は徐々に低下します。洗浄水が冷たいと感じたら、洗浄を止め、約 5 ~ 7 分*待ち、温水タンク内の水が温まってからご使用になることをおすすめします。
*周囲温度などにより時間は異なります。

取り付けかた

使いかた

使いかた (つづき)



4 止 Stop ボタンを押し、洗浄を停止する

- 洗浄後、約 7 秒間自動でノズルの洗浄をします。ノズル出口付近でノズルが 3 回伸縮します。
- 本体操作部の「止」ボタンでも操作できます。

お知らせ

- 洗浄停止直後に続けて「おしり」または「ビデ」ボタンを押しても、すぐに洗浄を開始しない場合があります。

5 立ち上がる

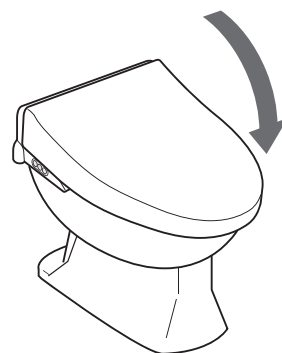
- 着座センサーの検知が切れ、洗浄操作ができなくなります。
脱臭は、約 1 分後に自動停止します。

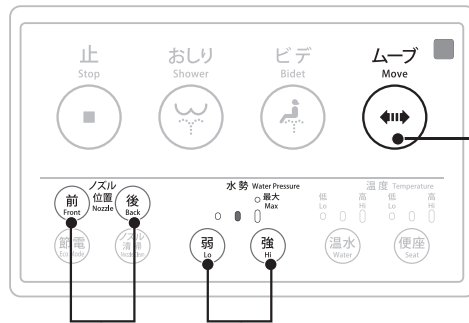
お知らせ

- 洗浄後、ノズル付近から水が出ますが、これは本体内部ホースの残水が出てくるもので、異常ではありません。
- ノズル付近から水が少量出ることがありますが、これは温水タンク内の水が温められて膨張して出てくるもので、異常ではありません。
- 連続して水が出ているときは、何らかの異常が考えられます。止水栓を閉め、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店、または当社へお問い合わせください。

6 便ふたを閉じる

- 便ふた・便座はゆっくりと閉まる機構になっています。
破損の原因になるため、便ふた・便座は無理な力を加えないでください。





おしり / ビデ
ムーブボタン

ノズル位置調節ボタン

水勢調節ボタン

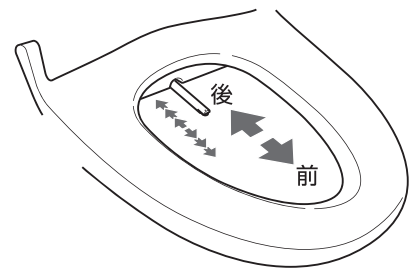
ノズル位置の調節

おしり洗浄またはビデ洗浄中に **前** **後** ボタンを押す

- 初期は中央の位置で、前後に3段階ずつ調節できます。

お知らせ

- ノズル位置の設定は本体に記憶されません。次に使用するときには、初期のノズル位置(中央)で洗浄を開始するため、再度調節が必要になります。



ムーブ洗浄

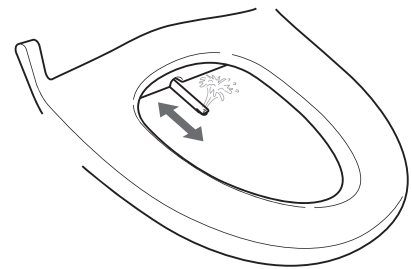
おしり洗浄またはビデ洗浄中に **ムーブ** ボタンを押す

- ノズルが前後に伸縮し、広範囲をまんべんなく洗浄します。
- ムーブ洗浄中はノズル位置調整ができません。ノズル位置を調整する場合は、いったんムーブ洗浄を終了してください。

<ムーブ洗浄をやめたいときは>

再度、**ムーブ** ボタンを押す

通常の洗浄に戻ります。

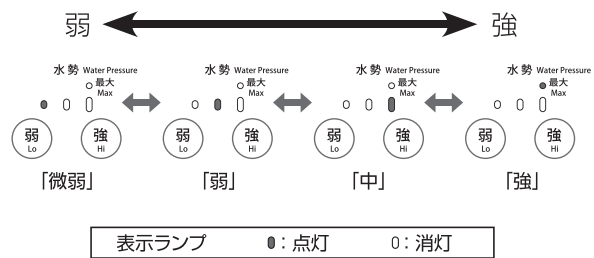


使
い
か
た

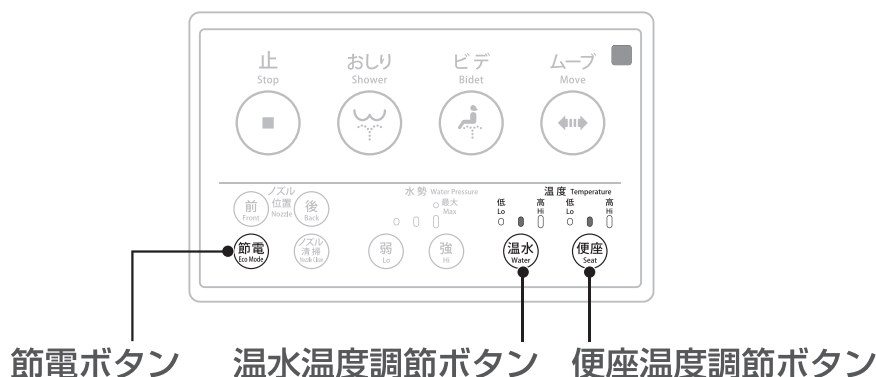
水勢の調節

水勢 **弱** **強** ボタンを押す

- 4段階で調節できます。
- 洗浄時以外でも調節できます。
- 水勢の強さ設定は、直前に設定した強さが記憶されています。
- 水道水圧が低いところでは、水勢の調節を「微弱」または「弱」にすると洗浄水が出ないことがあります。このようなときは、水勢の調節を「強」にしてください。



使いかた (つづき)

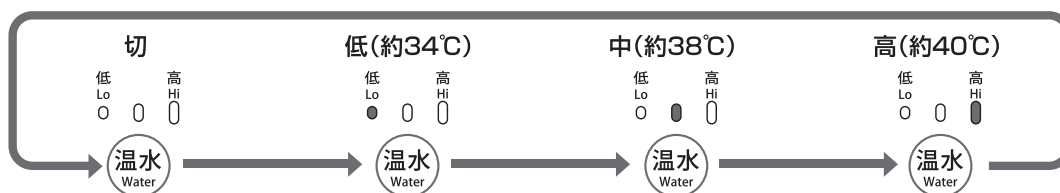


温水温度の調節

温水ボタンを押す

- 温水タンク内の保温温度を設定します。洗浄中に操作しても、洗浄水の温度が変わるわけではありません。
- 3段階で調整できます。
- ボタンを押すごとに設定温度が変更されます。
- 洗浄を続けると、洗浄水の温度は下がってきます。洗浄水が冷たく感じたら、いったん洗浄を停止し、温水タンク内の水温が上がるのを待ってからお使いください。

表示ランプ ●：点灯 ○：消灯



便座温度の調節

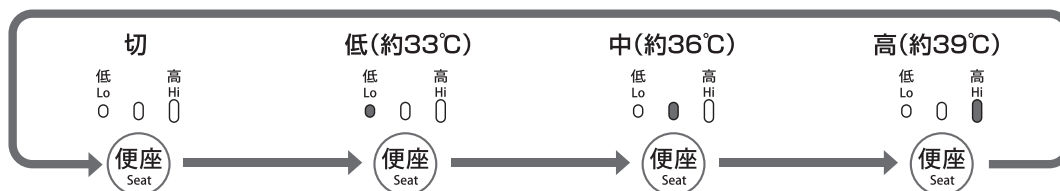
便座ボタンを押す

- 3段階で調整できます。
- ボタンを押すごとに設定温度が変更されます。

お知らせ

- 周囲温度によって、便座温度は変化します。使わないときに便ふたを閉めておくと、温度低下を少なくでき、また電気代の節約にもなります。

表示ランプ ●：点灯 ○：消灯



操作音について

リモコンや本体操作部を操作すると、ブザー音（ピッ）が鳴ります。気になるときはブザー音を消すこともできます。

本体操作部の **止** と **ビデ** ボタンを同時に3秒以上押す

- ブザー音が鳴らなくなります。
- もう一度同じ操作をすると、再びブザー音が鳴るようになります。



節電

節電 ボタンを押す

ボタンを押すたびに、節電モード 1 → 節電モード 2 → 解除 (ランプ消灯) に設定を変更できます。

節電モード 1 (節電ランプ 1 点灯)

設定温度(低、中、高)に関係なく温水温度は約 25℃、便座温度は約 28℃で待機します。
(待機温度を低くして節電します)

便座に座る (着座センサーが検知する) と…

- 温水ヒーターと便座ヒーターに通電し、設定温度まで温度が上がります。
(設定温度になるまで、約 4 分*かかります)

便座から立ち上がると…

- 温水温度は約 25℃、便座温度は約 28℃に戻ります。

節電モード 2 (節電ランプ 2 点灯)

温水ヒーターと便座ヒーターへの通電を節電モード 2 に設定したときから、8 時間止めて電力消費を抑えます。

- 8 時間止まったあと、温水ヒーターと便座ヒーターへの通電は再開され、設定温度で 16 時間運転します。
16 時間運転後 8 時間止まるという動作を解除するまで毎日繰り返します。
(→ 28 ページ「節電モード 2 設定中の状態の例」参照)
- 就寝前などに設定すると夜間あまり使用しない時間帯の電力の節約になり、便利です。
- 通電を止める時間を 5 ~ 9 時間 (1 時間単位) に変更することができます。

1. 本体操作部の「おしり」と「ビデ」ボタンを同時に約 3 秒間押す
(「ピッ」と音がして、本体表示部のランプがすべて消灯するまで押す)
2. 「おしり」ボタンを押すたびに本体表示部のランプが切り変わり、節電時間が変わる
1 分間ボタンを操作しないと、通常の使用状態に戻ります。
3. 本体操作部の「ビデ」ボタンを押す
通常の使用状態に戻ります。

- 通電を止めている間は、本体表示部の「電源」と「節電ランプ 2」のランプだけが点灯しています。(着座しなければ、他のランプは点灯しません)

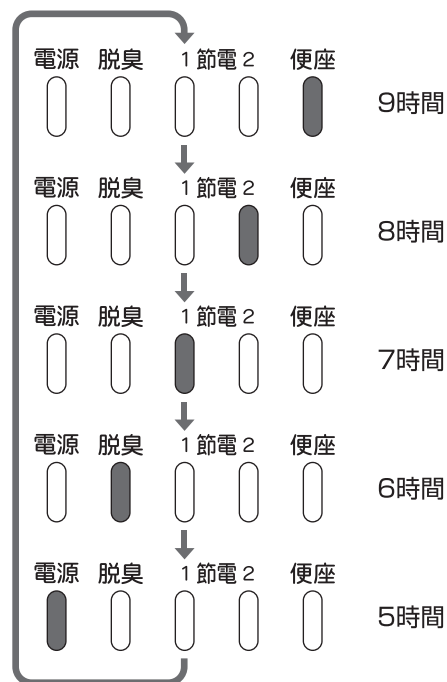
便座に座る (着座センサーが検知する) と…

- 通電が止まっている時間帯でも、温水ヒーターと便座ヒーターに通電し、設定温度まで上がります。(設定温度になるまで約 5 ~ 7 分*かかります)
- 「電源」と「節電ランプ 2」以外のランプも点灯します。

便座から立ち上がると…

- 座る前の状態に戻り、「電源」と「節電ランプ 2」以外のランプは消灯します。

* 周囲温度などにより時間は異なります。

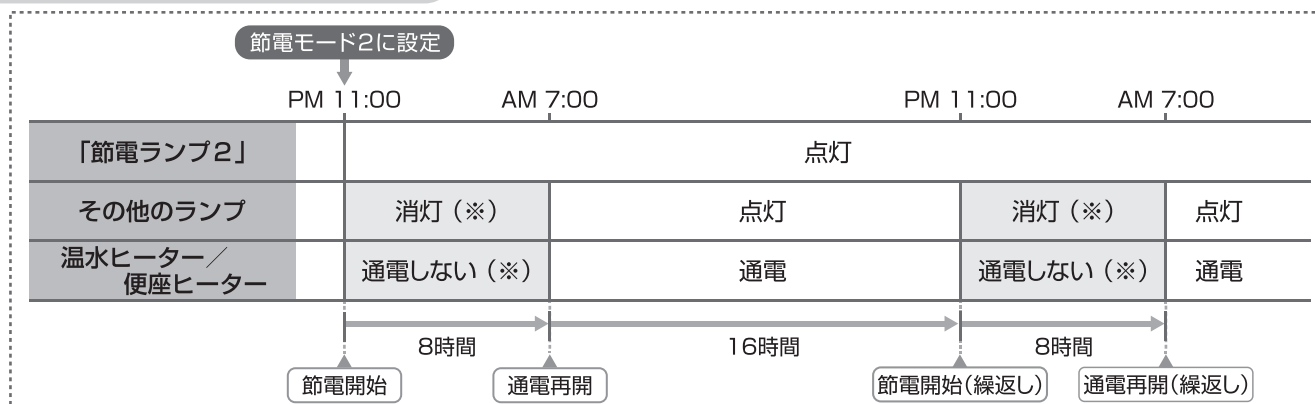


使
い
か
た

使いかた (つづき)

節電モード2 設定中の状態の例

…「通電を止める時間：8時間」/「節電モード2開始時刻：午後11時」に設定した場合

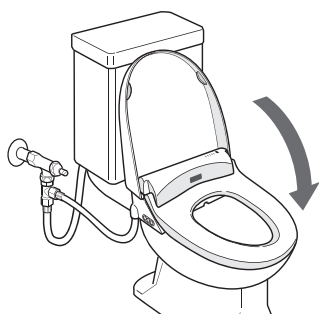


- (※) ●節電モード2設定中に便座に座ると、一時的に節電モード2が解除されます。
「電源」と「節電ランプ2」以外のランプも点灯し、温水ヒーター/便座ヒーターに通電します。
●立ち上がると、座る前の状態(節電モード2)に戻ります。

その他の節電のコツ

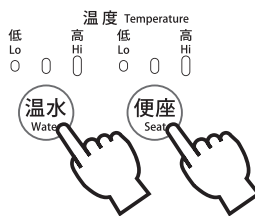
●便ふたは閉じておく

使用後に便ふたを閉じておくと、便座表面からの放熱を減らすことができます。



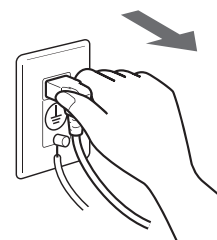
●設定温度を低めにする

季節に応じて、冷たさを感じない範囲で設定温度を低めに調節すると、節電になります。



●こまめに電源を切る

外出時など長時間使用しないときは、電源プラグを抜いておくと、節電になります。



お知らせ

- 瞬時停電などにより、節電モードが解除されることがあります。その場合は、再度設定してください。
- 瞬時停電などにより、節電モード2の通電停止時間が工場出荷時の8時間になっていることがあります。通電を止める時間を5～9時間(1時間単位)に変更したい場合は、再度設定してください。

脱臭機能について

脱臭機能は常時設定状態になっています。

- 着座して着座センサーが検知すると、脱臭ファンが動作し脱臭を始めます。
- 立ち上がって着座センサーの検知が切れると、約1分後に自動停止します。

ファンの動作音が気になるときなど、脱臭機能を解除することもできます。

本体操作部の  と  ボタンを同時に3秒以上押す

- 「脱臭」ランプが消灯し、脱臭機能が解除されます。
- もう一度同じ操作をすると、再び設定されます。(「脱臭」ランプが点灯)
- 節電(モード1,2)が設定されているときは、脱臭機能の設定・解除はできません。節電を解除してから行ってください。

お知らせ

- 脱臭機能は約15分で自動的に停止します。続けて使用する場合は、一度立ち上がって座り直してください。
- 脱臭機能は、便器内の脱臭を目的としております。トイレ全体を脱臭することはできません。

お手入れのしかた

警告



お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電・けがの原因になります。

プラグを抜く

注意



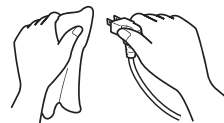
プラスチック部分をお手入れする場合は、うすめた中性洗剤を使用し、酸性やアルカリ性のトイレ用洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわし、乾いた布やトイレトペーパーなどを使用しない
プラスチック・金具を傷めます。

お知らせ

●停電があった場合や電源プラグを抜き差しすると、温水温度・便座温度・節電と水勢の設定は工場出荷時の状態に戻り、リモコンの表示と異なることがあります。リモコンの「温水」・「便座」・「水勢」ボタンをそれぞれ1回ずつ押し、リモコンの表示と本体の設定が一致するようになります。

電源プラグ

電源プラグを抜き、乾いた布でほこりなどをふき取る

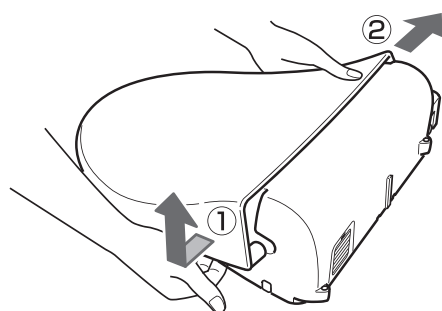


本体

1. 電源プラグをコンセントから抜く
2. 柔らかい布などに水を含ませ、固くしぼってからふく
 - リモコン送信部、受信部のよごれをふき取ってください。
3. よごれがひどいときは、中性洗剤を柔らかい布に含ませてふき取り、そのあと水ぶきする
 - 洗剤のご使用にあたっては、洗剤の用途をよく確認してからご使用ください。
 - 便ふたは取りはずしてお手入れできます。
 - 本体も便器から取りはずしてお手入れできます。(→ 30 ページ)
 - 本体裏側の脱臭吸込口のほこりなどは、ふき取ってください。
4. お手入れが終わったら、電源プラグをコンセントに差し込む(→ 20 ページ)

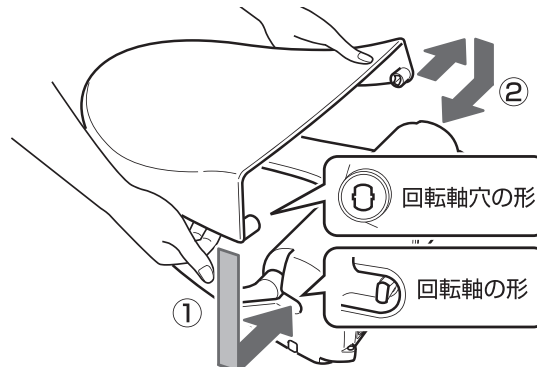


便ふたの取りはずし・取り付けかた



取りはずしかた

- ① 便ふたを閉じた状態で、右側を広げるようにして持ち上げて本体側の回転軸からはずす。
- ② 便ふたを左側に移動させながら本体からはずす。



取り付けかた

- ① 便ふたを閉じた状態で、便ふた右側の回転軸穴を本体側の回転軸に差し込む。回転軸穴と回転軸の形を合わせて差し込みます。
- ② 便ふたの左側を広げながら、便ふた左側の回転軸を本体側の回転軸穴に差し込む。
- ③ 便ふたを何回かゆっくりと開閉させて異常のないことを確認する。

お願い

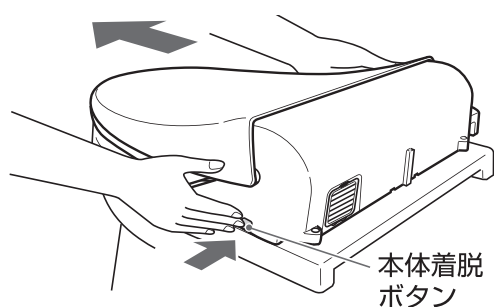
●便座、便ふたを無理に閉めないでください。回転軸が破損して便座、便ふたの開閉に支障をきたすことがあります。

使いかた

必要なとき

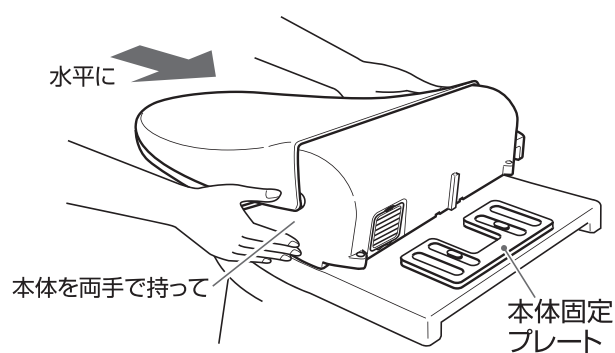
お手入れのしかた (つづき)

本体の取りはずし・取り付けかた



取りはずしかた

- ① 電源プラグをコンセントから抜く。
- ② 本体右奥にある本体着脱ボタンを押したまま手前に引き出す。



取り付けかた

- ① 本体固定プレートガイド(→ 7 ページ)と本体固定プレートを合わせ、カチッと音がするまで水平に押し込む。
- ② 電源プラグをコンセントに差し込む。

お願い

- 便座・便ふたを持って本体を持ち上げないでください。本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。
- 取りはずした本体を裏向きに置かないでください。傷・故障の原因になります。

⚠ 注意

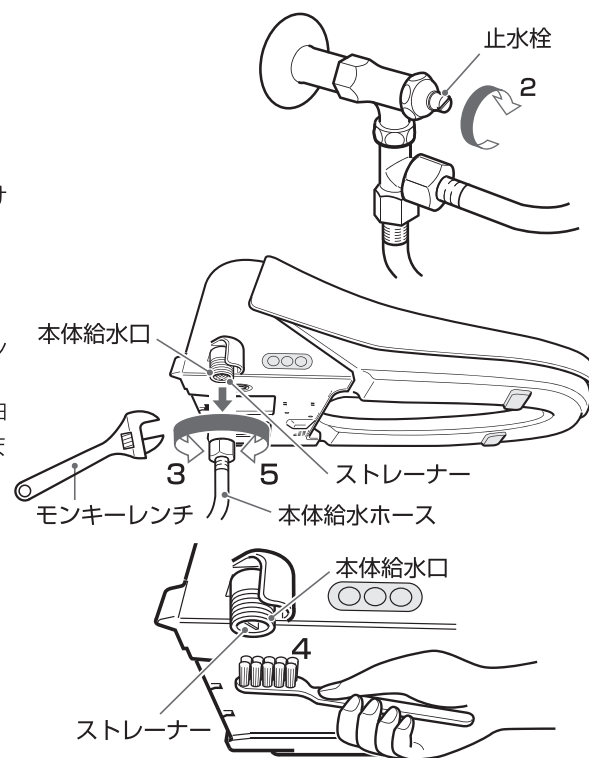


指示

ストレーナーをお手入れするときは、止水栓を閉める
ストレーナーをはずしたときは、元通りに取り付ける
水もれの原因になります。

ストレーナー

1. 電源プラグをコンセントから抜く
2. マイナスドライバーなどで止水栓を閉める
3. 本体から本体給水ホースを取りはずす
 - 給水ホース内の残水で床をぬらさないように気をつけて、モンキーレンチなどでナットをゆるめてください。
4. 歯ブラシなどでストレーナー部の掃除をする
 - ストレーナーは本体給水口に内蔵されています。
 - よごれがひどい場合は、ストレーナーのつまみをペンチなどで挟んで引き抜き、水洗いしてください。お手入れ後、つまみが見えるようにして、元通りに押し込んでください。(給水ホースを取り付けると、奥まで押し込まれます)
5. 本体に本体給水ホースを取り付け、止水栓を開ける
 - ナットはモンキーレンチなどで締め付けてください。
 - 水もれていないか確認してください。
6. 電源プラグをコンセントに差し込む



お願い

- ナットから水もれていないか、定期的 (月1回) に確認をしてください。
- ストレーナーを紛失したり、穴を開けてしまったり、よごれ・目詰まりがひどい場合は交換してください。ご購入は、お買い上げの販売店または当社にご連絡ください。

ノズル

1 電源プラグをコンセントに差し込む (→ 20 ページ)

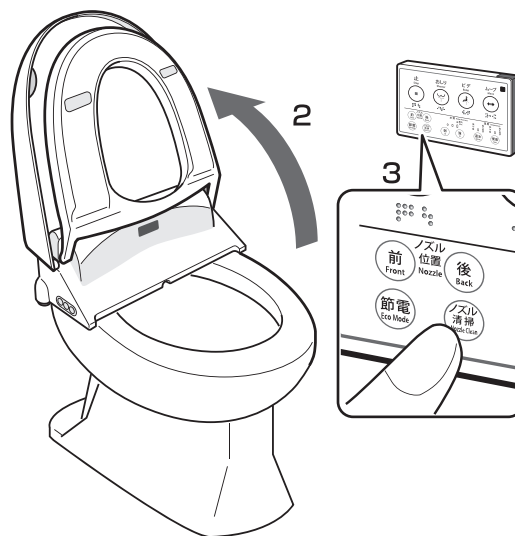
2 便ふた、便座を開ける

3 リモコンの ボタンを押す (ノズルが出てくる)

- ノズルが洗浄されながら伸縮し、ノズルが出た状態で停止します。
- ノズルの根元部分まで掃除したい場合は、ノズルの先端部分を指で引っ張ってください。

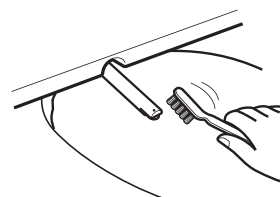
お願い

- ノズルに無理な力を加えないでください。故障の原因になります。



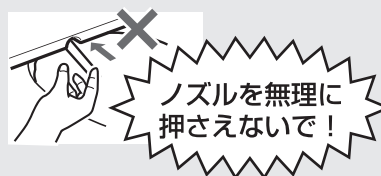
4 柔らかいスポンジやブラシ、布などに水を含ませて、ノズルを軽くふく

- ビデノズルは、指で軽く引っ張りながら掃除してください。



お願い

- ノズルの穴を傷つけないでください。
- ノズルに無理な力を加えないでください。ノズル動作中にノズルを無理に押さえると内部のギアが破損するおそれがあります。

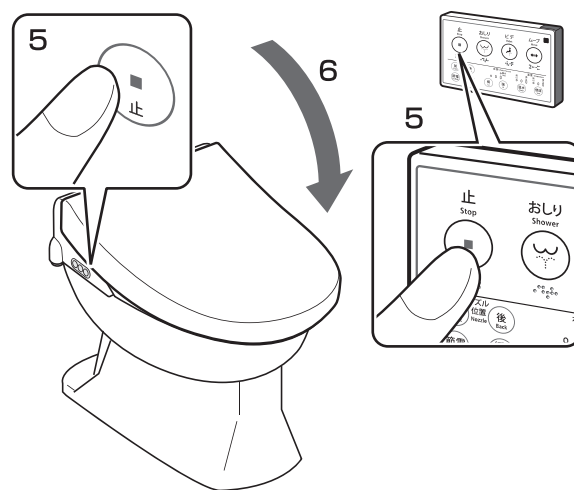


5 本体操作部またはリモコンの ボタンを押す

- ノズルが本体内に収納されます。
- ノズル清掃の状態で2分経過すると、ノズルは自動的に本体内に収納されます。
- ノズルが戻るときにノズルを引っ張らないでください。

お知らせ

- ノズルが本体に収納された後、音がすることがありますが、異常ではありません。



6 便座、便ふたを閉める

- 便座・便ふたはゆっくりと閉めてください。

必要なとき

お手入れのしかた (つづき)

⚠ 注意



脱臭カセット挿入口から、脱臭カセット以外のものを入れない
指などを入れると、挿入口の奥の脱臭ファンで、けがをする原因になります。



脱臭フィルターには、洗剤や水をかけない
洗剤をかけると塩素系ガスが発生し、気分が悪くなることがあります。
万一、洗剤がかかったときは、すぐ換気をしてください。

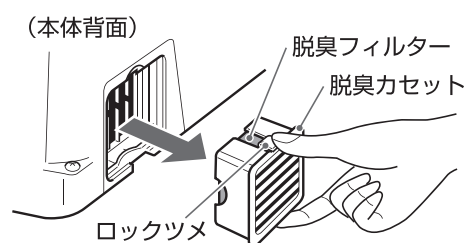
脱臭フィルター

1 脱臭カセットのロックツメを押し下げながらはずし、脱臭カセットを引き出す

- 無理に引っ張るとロックツメが破損する原因になります。

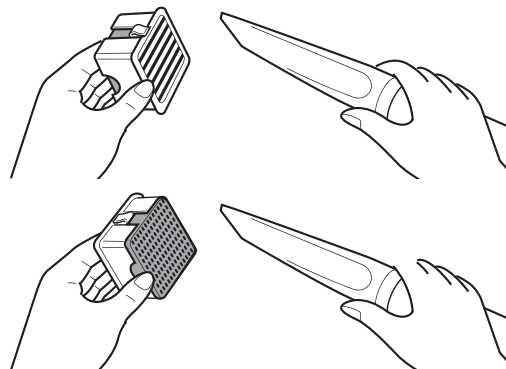
お願い

- 脱臭フィルターの水洗いはしないでください。
性能が低下したり、形がくずれることがあります。



2 脱臭フィルターのほこりを、掃除機などで取り除く

- 脱臭フィルターの格子部分が触れると黒くよごれることがあります。
身体や衣類によごれが付いた場合は水洗いしてよごれを落としてください。



3 脱臭カセットを元通りに差し込む

- ロックツメは確実にセットしてください。

脱臭フィルターのお取り替え

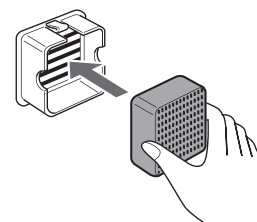
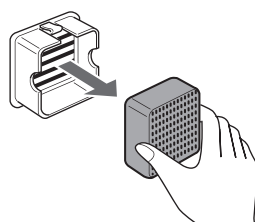
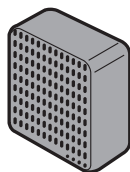
脱臭フィルターの寿命は約5年です。お手入れしても、においが気になる場合はお取り替えください。
脱臭フィルターのご購入は、お買い上げの販売店へご注文ください。

脱臭フィルター

(部品コード：02030115)

1. 寿命になった脱臭フィルターを引き抜く

2. 新しい脱臭フィルターをカセットに差し込む



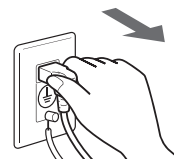
凍結防止・長期間使わないときの処置のしかた

凍結のおそれがあるときは、配管部が破損する可能性がありますので水抜きをしてください。
長期間使わないときは、水が腐敗して皮膚の炎症などの原因となりますので水抜きをしてください。
ただし、下記の処置をしないとロータンクおよび本体に給水されずトイレは使えません。

凍結予防および長期間使わないときの処置のしかた

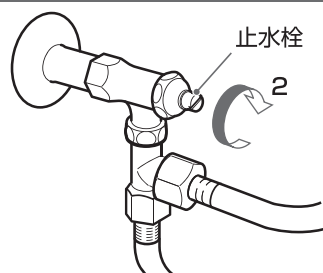
1 コンセントから電源プラグを抜く

- 電源プラグを抜かずに温水タンクの水を抜くと、便座本体内部の温度ヒューズが溶断し、故障の原因になります。



2 止水栓を閉める

- マイナスドライバーなどで止水栓を閉めてください。



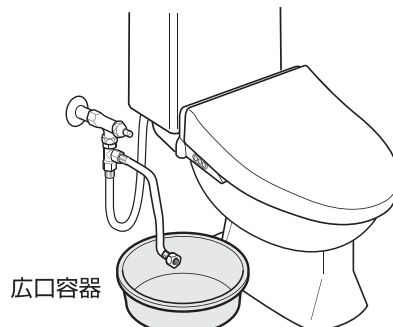
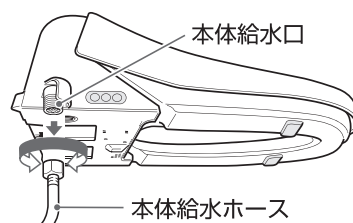
3 温水タンクの水を抜く

1. 便座を便器からははずす
(→ 30 ページ)
2. コイン状のもので温水タンク水抜栓を回してはずす
 - 排水は、2L以上の広口容器で受けてください。



4 給水ホースとロータンクの水を抜く

1. 本体給水口に接続されている本体給水ホースをはずし、先端部分を広口容器に入れる
2. ロータンクのレバーを回し、ロータンク内の水を流し、空にする
 - ロータンクのレバーを回すと、本体給水ホース内の水も抜けますので、はずした本体給水ホースの先端部が広口容器に入っていることを確認してください。



5 水抜きが終わったら、温水タンク水抜栓・本体給水ホースを元通りに取り付ける

必要
な
と
き

凍結防止・長期間使わないときの処置のしかた (つづき)

凍結予防を解除する・使用を再開する

1 止水栓を開ける

- 配管接続部などに水もれがないか確認してください。

2 電源プラグを差し込む (→ 20 ページ)

- 本体操作部の「おしり」ボタンを押して、タンクに給水する。

お願い

- リモコンのボタンを押してもリモコンのランプが点灯しない場合は、電池が消耗している可能性がありますので、電池を交換してください。
電池を交換したら、リモコンの「温水」・「便座」・「水勢」ボタンをそれぞれ1回ずつ押して、リモコンの表示と本体の設定を一致させてください。

異常報知について

本体に異常が発生すると本体表示部の表示ランプが点滅してお知らせします。

表示内容	考えられる原因	処置のしかた
電源 脱臭 1節電 2 便座 	<ul style="list-style-type: none">●温水温度異常●温水温度センサーの故障による温水温度制御不能	ご使用をやめて電源プラグを抜き、点検・修理をご依頼ください。
電源 脱臭 1節電 2 便座 	<ul style="list-style-type: none">●便座温度異常●便座温度センサーの故障による便座温度制御不能	
電源 脱臭 1節電 2 便座 	<ul style="list-style-type: none">●タンク内の水量低下・不足 (漏水など)●水位センサーの故障などによる水位制御不能	

表示ランプ : 点灯 : 点滅 : 設定状態によって、点灯または消灯

- 電源プラグを差し込むとすべてのランプが点滅しますが、初期動作によるもので異常ではありません。(→ 20 ページ)

故障かな?と思ったら

修理サービスを依頼される前に、
次の点をお調べください。

状態	原因	処置方法	ページ
動かない	● 停電していませんか。	● 停電の復帰を待ってください。	—
	● ブレーカーが切れていませんか。	● ブレーカーを「入」にしてください。	—
	● 電源プラグが抜けていませんか。	● 電源プラグをコンセントに差し込んでください。	20
	● リモコン受信部が衣類などでおおわれていませんか。	● 衣類などを離してください。	5,23
ノズルが出ない	● 「ノズル清掃」ボタンを押した後、ノズルが出たままになっていませんか。	● 「止」ボタンを押して、ノズルを本体に収納してください。	31
	● 着座センサーを衣類がかくしていませんか。	● 衣類を離してください。	23
洗浄水が出ない	● 断水していませんか。	● 断水の復帰を待ってください。	—
	● 止水栓が閉まっていますか。	● 止水栓を開けてください。	19
	● 本体給水ホースなどが凍結していませんか。	● お湯に浸した布などで凍結部を温めるか、または室内を温めて解凍してください。(熱湯や熱風による解凍はホースが破損するおそれがあります)	—
	● 本体のランプが点滅していませんか。(温水タンクに水が入っていません)	● 「おしり」ボタンを押して、初期給水を行ってください。	20
ノズルの周辺から水が流れる、洗浄水が止まらない	● おしり / ビデ洗浄の開始前や終了後ではありませんか。	● 洗浄前と洗浄後にノズルの洗浄をします。故障ではありません。	23,24
水勢が弱い	● ストレーナーにゴミが詰まっていますか。	● ストレーナーを掃除してください。	30
	● 本体給水ホースが折れ曲がっていますか。	● ホースの折れ曲がりをなくしてください。	15
	● 水勢が「微弱」「弱」になっていませんか。	● 水勢を「強」に調節してください。	25
	● リモコンの水勢ランプが「中」「強」になっていても、瞬時停電などにより本体の設定が工場出荷時の「微弱」になっていることがあります。	● 水勢を「中」「強」に再度設定し直してください。	25
	● ノズルが目詰まりしていませんか。	● ノズルを掃除してください。	31
洗浄水がぬるい、冷たい	● 温水温度調節が「切」「低」に設定されていませんか。	● 設定温度を「中」「高」に調節してください。	26
	● リモコンの温水温度ランプが「中」「高」になっていても、瞬時停電などにより本体の設定が工場出荷時の「低」になっていることがあります。	● 水温を「中」「高」に再度設定し直してください。	26
	● 連続して洗浄していませんか。温水タンクの容量は約0.6Lです。おしり / ビデ洗浄中に洗浄水の温度は徐々に低下します。	● 洗浄を止め、約5～7分*待ち、温水タンク内の水が温まってから使用してください。	23
	● 節電ランプが点灯(節電モード設定中)していませんか。	● 洗浄を止め、約5～7分*待ち、温水タンク内の水が温まってから使用してください。	27
	● 停電があったり、電源プラグを抜くなど通電を止めていませんか。	● 通電を再開してから約5分後、温水ヒーターに通電します。洗浄を止め、約5～7分*待ってください。	5
	● 便座温度調節が「切」「低」に設定されていませんか。	● 設定温度を「中」「高」に調節してください。	26
便座がぬるい、冷たい	● リモコンの表示が「中」「高」になっていても、瞬時停電などにより本体の設定が工場出荷時の「低」になっていることがあります。	● 設定温度を「中」「高」に再度設定し直してください。	26
	● 節電ランプが点灯(節電モード設定中)していませんか。	● 節電モード設定中は、温まるまでに着座後約5～7分*かかります。	27

*周囲温度などにより時間は異なります。

必要
な
と
き

故障かな?と思ったら (つづき)

状態	原因	処置方法	ページ
脱臭が動作しない	●脱臭運転を解除していませんか。	●本体操作部の「止」と「おしり」ボタンを同時に3秒以上押して、設定してください。(節電設定は解除してから行ってください)	28
脱臭が途中で止まる	●15分以上着座していませんか。(約15分で脱臭が止まります)	●一度立ち上がって座り直してください。	28
においが取れなくなった	●脱臭フィルターにほこりが詰まっていますか。	●脱臭フィルターのお手入れをしてください。	32
本体がガタつく	●本体を固定している取付ボルトの締め付けがゆるんでいませんか。	●取付ボルトを締め付け直してください。	12
リモコンのランプが途中で消灯する	●リモコンのボタンを押して10秒経過していませんか。	●ボタンを操作すると再度点灯します。	23
リモコンのランプが点灯しない	●電池の入れ方がたが間違っていないか。 ●電池が消耗していませんか。	●電池の⊕⊖を確かめて正しく入れてください。 ●電池を新しいものに交換してください。	16
便座本体とリモコンの設定が異なる	●停電はありませんでしたか。 ●電源プラグを抜きましたか。 ●電源がOFFになると便座本体の設定はリセットされます。	●リモコンを操作して設定し直してください。	29
	●リモコンの電池を入れ換えましたか。 ●電池を入れ換えるとリモコンの設定はリセットされます。	●リモコンを操作して設定し直してください。	16

仕様

形名	JCS-220DRN	
電源	交流100V 50/60Hz 共用	
定格消費電力	662W (電気温水器 612W・電気便座 50W)	
区分 ^{*1}	貯湯式	
年間消費電力量 (2012年度基準) ^{*2}	135kWh/年 (193kWh/年)	
省エネ基準達成率 (2012年度基準) ^{*2}	135%	
使用可能給水圧力	0.07MPa (流動時) ~ 0.75MPa (止水時)	
給水温度	約5 ~ 35℃	
温水洗浄装置	おしり洗浄	約0.60 ~ 0.80L/分
	ビデ洗浄	約0.60 ~ 0.80L/分
	水勢調節	おしり、ビデ各4段階
	温度調節 ^{*3}	3段階調節 (約34℃ ~ 40℃)、およびヒーター「切」
	ノズル位置調節	7段階調節
	温水ヒーター	600W
	温水タンク容量	約0.6L
安全装置	サーモスイッチ (温度過昇防止器)、温度ヒューズ、水位センサー	
暖房便座装置	温度調節 ^{*3}	3段階調節 (約33℃ ~ 39℃)、およびヒーター「切」
	便座ヒーター	50W
	安全装置	温度ヒューズ、サーモスタット (温度過昇防止器)
脱臭	脱臭フィルター	触媒脱臭
	脱臭風量	約0.11m ³ /分
節電モード	モード1、モード2 (9,8,7,6,5時間タイマー節電)	
その他の安全装置	漏電遮断回路内蔵	
外形寸法	幅440mm × 奥行543mm × 高さ158mm	
本体重量	約3.9kg	
電源コード	長さ約1.0m	

※1 省エネ法 (2012年度基準) の区分。

※2 年間消費電力量測定基準

省エネ法 (2012年度基準) に基づいて、湯沸かし方式などの種類別の算定式により、算出したものです。タイマー節電機能は、一般家庭でのタイマー平均使用時間 (7.7時間) で算出しています。タイマー節電機能を使用しない場合の消費電力量を () で表示しています。

※3 使用される環境条件により、変わることがあります。


この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

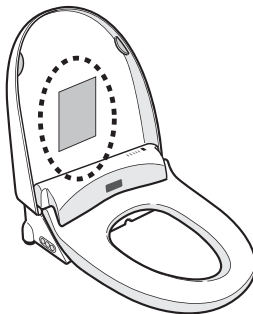
安全・安心にお使いいただくために

製品の長期使用に関する本体表示について

■本体への表示内容

- ・製造年（本体に西暦 4 桁で表示しています）
- ・注意表記（下記の表記を便ふたの警告表示ラベルに表示しています。）

	【想定安全使用期間】 10 年（一般家庭用に設置された場合） 想定安全使用期間をこえてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。
---	--



■想定安全使用期間とは

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で、適正な取り扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として、想定される期間です。

無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

※一般家庭用以外（事務所、病院など、不特定多数のかたが使用される場所）に設置された場合は、使用条件により、想定安全使用期間よりも早い時期に劣化するおそれがあります。

■標準的な使用条件

環境条件	電圧・周波数	AC100V、50/60Hz	機器の定格電圧／周波数による
	温度	20℃	JIS A 4422 による
	給水温度・給水圧	15℃ 0.2MPa	JIS A 4422 による
付加条件	定格負荷	製品仕様による標準設置状態	JIS A 4422 による
想定条件	4 人家族（男性 2 人、女性 2 人）において、大便：1 回／日・人、小便男性：4 回／日・人、小便女性：4 回／日・人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ 15 秒間とする		JIS A 4422 による
取扱維持管理	本書に記載された通常的使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

■経年劣化とは

長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

■日常点検

安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検を行ってください。

点検項目	
電源コードが熱くなっていませんか？傷んだり、挟みこんだりしていませんか？	故障したまま使い続けると、火災や感電、室内浸水の原因になります。すぐに使用を中止し、電源プラグを抜き、止水栓を閉め、お買い上げの販売店、または当社に連絡してください。
暖房便座が異常に熱いときや暖かくなるときはありませんか？	
暖房便座の開閉はスムーズですか？ガタツキはありませんか？	
配管や本体から水漏れしていませんか？	
こげた臭いはしませんか？異音・異臭はありませんか？	
本体や暖房便座にひび割れはありませんか？ゴム脚ははずれていませんか？	

■定期点検のおすすめ

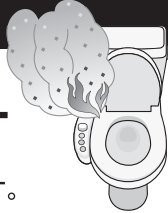
・安全に末永く快適にご使用いただくために、約 5 年を目途に定期点検を受けていただくことをおすすめします。（定期点検に要する費用は有料となります）

逆流防止装置が摩耗・劣化すると水の逆流の原因になりますので、お早めの交換をおすすめします。

必要なき

安全・安心にお使いいただくために (つづき)

重大事故防止のためのお願い



温水洗浄便座は電気製品です

長年のご使用や故障したままのご使用は、電子・電気部品が劣化して発煙・発火などの恐れがあります。

**温水洗浄便座を
安全に使う
3つのポイント**

1 定期的な点検をおすすめします。まずは自分で安全チェックを。

安心してご使用いただくため、定期的な点検(有料)をおすすめします。

2 リコール製品や故障した製品は使わないでください。

発煙・発火などの原因になります。すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止してください。

3 長期間お使いの製品は点検と買い替えをご検討ください。


長期間(10年以上)ご使用の温水洗浄便座は買い替えをご検討ください。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックポイント


<input type="checkbox"/> トイレが焦げ臭いなどいつもと違うにおいがする。	<input type="checkbox"/> 便座のゴム足が外れている、ガタツキがある。	<input type="checkbox"/> 操作部のシールがめくれたり、ひび割れたりしている。
<input type="checkbox"/> 便座がときどき冷たい(節電中は除く)。	<input type="checkbox"/> 便座コードの発熱やねじれ、キズ、挟み込みがある。	<input type="checkbox"/> 電源プラグやコードの発熱や焦げ、変色がある。
<input type="checkbox"/> 便座が異常に熱いときがある。	<input type="checkbox"/> お湯や温風が異常に熱い、または冷たいときがある。	<input type="checkbox"/> 製品や便器を伝って水漏れしている。
<input type="checkbox"/> お湯や温風が異常に熱い、または冷たいときがある。	<input type="checkbox"/> 便座にひびや割れがある。	<input type="checkbox"/> 使うときだけ少量の水がたれて水漏れしている。

上記症状は、発煙・発火などの原因になります。すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止し、販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。


一般社団法人
発行元: **日本レストルーム工業会**



<https://www.sanitary-net.com/>



詳細はこちらを
ご覧ください



一般社団法人
リビングアメニティ協会

保証とアフターサービス 必ずお読みください

保証書 (一体)

- 保証書は、本書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げの日から 1 年間です。
- 保証期間中の故障は、保証書の内容に基づき、無料修理となります。無償商品交換ではありません。

転居されるときは

- 転居で、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もってお買い上げの販売店にご相談ください。ご転居先での取扱店を紹介いたします。
- ※再設置に要する費用は、保証期間内であっても有料です。

補修用性能部品の保有期間

- 温水洗浄便座の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後 6 年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは

出張修理

34～36ページ「異常報知について」「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜き、止水栓を閉めてから、お買い上げの販売店または当社にご連絡ください。

■保証期間中は.....

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。
●保証期間中でも有料になることがありますので、ご了承ください。(保証書に詳細を記載してありますので、そちらをご覧ください。)

■保証期間が過ぎているときは.....

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ.....

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

アフターサービスは、お買い上げの販売店へお申し付けください。
また、おわかりにならないときは、下記フリーダイヤルにご連絡ください。

フリーダイヤル
0120-117-817 受付時間 平日9:00～17:30(土・日・祝・夏季休暇・冬季休暇を除く)

※ PHS・携帯電話・IP電話などで、一部通話できない場合があります。

アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをご知らせください。

(1) 製品品番 (2) 異常の状況 (3) ご購入年月日 (4) お名前・ご住所・お電話番号

■インターネットでの修理のご依頼も可能です。

アフターサポートサイト

http://www.janis-kogyo.co.jp/after_support



〈修理のご依頼〉

修理のご依頼をインターネットより受け付けております。
修理受付後、弊社修理窓口よりお電話でご連絡させていただきます。

〈お役立ち情報〉

お客様のお問い合わせいただくことの多い質問をまとめています。
修理やお問い合わせの前に参考にしてください。

※お客様の個人情報の取り扱いについて

個人情報保護に関連する法令を遵守し、個人情報保護に関する基本方針を定め、関係会社を含めた全社に徹底を図っております。

詳細はジャニス工業ホームページをご覧ください。

〈廃棄について〉

この商品を廃棄する場合は、必ず公的な許可を受けて処理事業者にご依頼ください。

長年ご使用の温水洗浄便座の点検をぜひ！



愛情点検

このような症状はありませんか。

- コンセントがガタついている。
- 水もれがする。
- 焦げ臭いにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がある。
- 本体に触ると、ビリビリ電気を感ずる。
- ボタンを押しても動作しないときがある。
- 電源コード、プラグ、本体が異常に熱い。
- そのほか、異常・故障がある。

ご使用中 止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店または当社に点検、修理をご相談ください。

必要なとき

保証書

本書は、本書記載内容にて無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生したときは、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼ください。
※お買い上げ日・お客様・販売店の欄に記載のない場合は無効になります。必ずご記入ください。

品番：JCS-220DRN

お買い上げ日 年 月 日 保証期間 お買い上げ日より **1年**

お客様： ご住所

お名前

販売店： ご住所

お名前

無料修理規定（保証規定）

- 取扱説明書・ラベルなどの注意書にそった正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合に、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合に、お買い求めの販売店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答などで、本書に記載の販売店に修理を依頼できない場合、当社にご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合は有料修理とさせていただきます。
 - (イ) 使用・維持管理上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷。
 - (ロ) 火災、地震、水害、落雷・その他の天災地変、公害や異常電圧など、その他の損傷がある場合。
 - (ハ) 消耗部品の劣化に伴う故障および損傷。
 - (ニ) 本書の提示が無い場合。
 - (ホ) 本書にお買い上げ日・お客様のお名前・販売店の記入のない場合、あるいは字句が書き替えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

修理年月日	損傷と措置	サービス担当者

ジャニス工業株式会社

本社：〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地

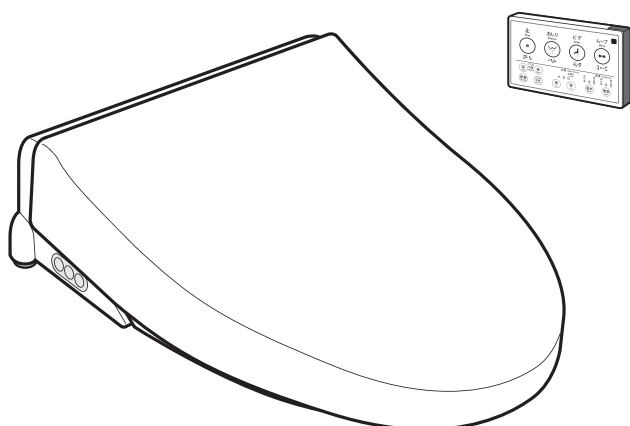
Janis

温水洗浄便座 サワレット®

取扱説明書 / 施工説明書

保証書付

品番 **JCS-220DRN** (自動脱臭機能付き)



家庭用

日本国内専用
Use only in Japan

このたびは温水洗浄便座をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前に本書をよくお読みのうえ正しく安全にお使いください。

ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

本書はいつでもご覧になれる場所に、大切に保管してください。保証書は本書の裏表紙についていますので、お買い上げ日、販売店などの記入を確かめて大切に保管してください。

※お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

もくじ

ご使用前に

安全上のご注意	2~4
お知らせ	5
お願い	6
各部のなまえ	7~9

取り付けかた

取り付け前の確認	9~10
付属品	10
取り付けかた	11~15
リモコンの準備と取り付けかた ..	16~18
取り付け後の確認	19~21
連立トイレに取り付けるかたへ ..	22

使いかた

使いかた	23~28
------------	-------

必要なとき

お手入れのしかた	29~32
凍結防止・長期間使わない ときの処置のしかた	33~34
異常報知について	34
故障かな?と思ったら	35~36
仕様	36
安全・安心にお使い いただくために	37~38
保証とアフターサービス	38~39
保証書	裏表紙